令和５年度

事　業　報　告　書

社会福祉法人
寝屋川市社会福祉協議会

目　次

令和５年度事業の総括 …… 1
１．小地域福祉活動推進事業 …… 2
２．まちかど福祉相談所拡充事業 …… 8
３．緊急時安否確認（かぎ預かり）事業 …… 12
４．地域支え合い推進事業 …… 14
５．ボランティアセンター事業 …… 24
６．福祉教育推進事業 …… 33
７．当事者組織支援事業 …… 36
８．献血推進事業 …… 39
９．福祉有償運送事業 …… 40
１０．車イス貸出し事業 …… 45
１１．元気アップ介護予防ポイント事業 …… 46
１２．救急医療情報キット普及事業 …… 48
１３．福祉総合相談事業 …… 49
１４．赤い羽根共同募金事業 …… 51
１５．歳末たすけあい運動事業 …… 53
１６．広報事業 …… 57
１７．調査・研究事業 …… 59
１８．地域包括支援センター事業 …… 63
１９．生活困窮者自立支援事業 …… 71
２０．生活福祉資金貸付事業 …… 77
２１．生活緊急支援金給付事業 …… 79
２２．日常生活自立支援事業 …… 80
２３．善意銀行事業 …… 83
２４．法人運営・基盤強化事業 …… 84
２５．研修事業 …… 99
２６．大阪府共同募金会寝屋川地区募金会の運営 …… 101
２７．地域福祉活動計画の推進 …… 102
２８．災害被災地支援活動 …… 104

表中表記の見方

- 本文の表中にある「△」標記は、マイナスを示します。
- 本文の表中にある(△7)等のカッコを付けた数字表記は、前年実績と比較しての増減を示します。
  例えば、表のひとつの枠内に 8(△5)とある場合は、本年度実績が「8」で、前年実績と比べて「マイナス5」であることを示しています。
- 同じく表中で使用する「－」表記はゼロを指します。
  例えば、表のひとつの枠内に6(－)とある場合は、本年度実績が6で、前年実績も6であったため、前年比がゼロであったことを示しています。
- 本文にある「V」は「ボランティア」の略字です。
- 本文にある「VC」は「ボランティアセンター」の略字です。
- 本文にある「CSW」は「コミュニティソーシャルワーカー」の略字です。
- 本文にある「包括」は「地域包括支援センター」の略字です。

令和５年度事業の総括

１　おもな成果 ……

(1)　緊急時安否確認に関する状況把握調査の分析を行い、校区福祉委員と議論を重ね、孤立・孤独を防ぐ地域づくりの取り組み方針をまとめました。また、コロナ禍で停滞していた見守り活動やふれあいいきいきサロン活動等の再スタートへつなげることができました。

(2)　災害時に備えた地域丸ごと座談会を５校区で開催し、地域住民と障害のある人との関係づくりや平時からの備えについて話し合い『地域の福祉防災力』の向上を図りました。また、寝屋川中央ライオンズクラブとの災害支援協定の締結や災害時対応マニュアル及びBCP（事業継続計画）の作成を行いました。

(3)　小・中学生対象の夏のボランティア体験やシニア対象の昔遊びボランティア養成講座を開催したほか、校区福祉委員会において子どもがボランティアとして参加する事業を実施するなど、幅広い世代の住民がボランティア活動に参加するきっかけづくりに取り組みました。

(4)　体操、ウォーキング、おしゃべり、折り鶴、手芸など、テーマごとの活動づくりや、居宅介護支援事業所や喫茶店と連携した共生型サロンの立上げ支援、サロン機能をあわせ持ったまちかど福祉相談所の立上げ支援など、地域支え合い推進員とCSWが連携し、新たな通いの場づくりに取り組みました。

(5)　新型コロナウイルス特例貸付借受世帯に対し、2,200件以上の生活再建に向けた支援を実施しました。また、生活が困窮する世帯へは、地域貢献委員会のフードドライブ事業による食糧支援など、多機関連携による個別支援を実施しました。

２　課　題 ……

(1)　大規模な自然災害が頻発するなか、地域住民、行政、関係機関とともに、災害ボランティアの養成・登録や、災害支援用備品の整備、また連携体制構築のための話し合いの場づくりをより一層推進する必要があります。

(2)　住民賛助会費をはじめとする自主財源が年々減少するなか、よりわかりやすいメリットづくりや、テーマ型募金など、企業・事業所への新たなアプローチ方法を検討し、先駆的・開発的事業をすすめるための基盤強化に取組む必要があります。

(3)　校区福祉委員やボランティアの高齢化がすすむなか、テーマごとのボランティア講座の開催や広報活動をとおして、活動の魅力を伝え、担い手を養成する必要があります。

(4)　判断能力が不十分な方を支える日常生活自立支援事業の利用希望者は多く、早急に体制を強化・増員する必要があります。また、成年後見制度の利用促進や移行支援などを速やかに行えるよう、連携体制を整えていく必要があります。

１．小地域福祉活動推進事業

地域の高齢者、障害(児)者及び子育て中の親子等、支援を必要とするすべての人が安心して生活できるよう、地域住民の参加と協力による支え合い、助け合い活動を概ね小学校区（校区福祉委員会）で推進しています。

(1) 校区福祉委員会活動推進事業（全市レベルで行う校区福祉委員会に関連する事業）

①校区福祉委員長協議会の開催（開催回数：６回）

第１回　５月 11 日（木）　24 校区出席

〔1〕事務局職員人事および校区担当について

〔2〕令和５年度校区福祉委員長について

〔3〕敬老記念式典における表彰者の推薦要領について

〔4〕まちかど福祉相談員養成研修会開催要項について

〔5〕運転協力者（福祉・セダン）認定講習会開催要項について

〔6〕小地域ネットワーク活動推進事業補助金の増額について

〔7〕会員募集中間報告について

〔8〕緊急時安否確認に関する状況報告について

【配付】敬老記念式典表彰者推薦関係様式

【配付】ボランティアセンター通信第 138 号

【配付】ねやがわ子育てナビ

【配付】高齢者サポートセンターパンフレット

【配付】運転協力者認定講習会チラシ

第２回　７月３日（月）　24 校区出席

〔1〕ひとり暮らし高齢者名簿の配付について

〔2〕赤い羽根共同募金運動実施要項について

〔3〕敬老記念式典における表彰者の推薦状況と推薦後の流れについて

〔4〕ボランティア講座「技術編」開催要項について

〔5〕「緊急時安否確認に関する状況把握調査」の分析報告

〔6〕令和５年度　ひきこもり支援セミナーについて

【配付】ひとり暮らし高齢者名簿

【配付】ひとり暮らし高齢者名簿受領書

【配付】令和4年度校区福祉委員会活動概況一覧

【配付】ボランティアセンター通信第 139 号

【配付】「緊急時安否確認に関する状況把握調査」報告書

【配付】令和4年度 CSW 報告書について

第３回　９月１日（金）　22 校区出席

〔1〕歳末たすけあい運動実施要項について

〔2〕小地域ネットワーク活動充実に向けた意見交換

【配付】運転協力者認定講習会チラシ

【配付】ボランティアセンター通信第 140 号

【配付】高齢者サポートセンターパンフレット

第４回　11月１日（水）　21校区出席

〔1〕令和６年度社会福祉協議会会員募集実施要項について

〔2〕小地域ネットワーク活動充実に向けた意見交換

〔3〕赤い羽根共同募金運動街頭募金の実績報告について

〔4〕令和５年度歳末たすけあい運動街頭募金の日程について

〔5〕緊急時安否確認に関する状況報告について

【配付】ボランティアセンター通信第141号

【配付】高齢者サポートセンターより「高齢者の生活支援活動の説明会」チラシ配布

第５回　１月12日（金）　20校区出席

〔1〕特殊詐欺被害防止等啓発の協力依頼について

〔2〕福祉広報研修会開催要項について

〔3〕校区福祉委員指導者研修会開催要項について

〔4〕子育てサロン担当者交流会開催要項について

〔5〕まちかど福祉相談員現任研修会開催要項について

〔6〕小地域ネットワーク活動の充実に向けた意見交換

【配付】ボランティアセンター通信第142号

【配付】高齢者サポートセンターより「高齢者の生活支援活動の説明会」チラシ配布

第６回　３月１日（金）　20校区出席

〔1〕令和６年度　ひとり暮らし高齢者調査について

〔2〕校区福祉委員会　各種書類の提出について

〔3〕令和６年度　福祉学習説明会について

〔4〕令和６年度　地域献血日程について

〔5〕令和６年度　災害時に備えた地域丸ごと座談会について

〔6〕令和６年度　ボランティア講座（入門編）について福祉広報研修会開催要項について

【配付】ひとり暮らし高齢者調査様式一式

【配付】校区福祉委員会各種提出書類（1部）

【配付】ボランティア通信143号（委員長分）

【配付】ボランティアセンター登録ボランティアグループ紹介冊子（委員長分）

【配付】ボランティア保険様式（パンフレットおよび申込書）

【配付】かかりつけ医療機関安心マップ2024　＊医師会からの依頼

② 小地域ネットワーク推進委員会の開催（開催回数：2回）

令和５年５月に発行した、報告書『孤立・孤立を防ぐ地域づくりへ』を基に、見守り活動の現状と課題検討について意見交換を行いました。

第１回　10月25日（水）　26人出席

〔1〕オリエンテーション

〔2〕委嘱状および正副委員長の選任について
〔3〕報告書『孤立・孤立を防ぐ地域づくりへ』の共有について
〔4〕見守り活動の現状と課題検討について（意見交換）
〔5〕今後のスケジュールについて

第2回　12月 13日（水）　26人出席
〔1〕前回のふりかえり
〔2〕現状の課題共有について
〔3〕孤立・孤独を防ぐ地域づくりの5大プロジェクトの検討について
〔4〕今後のスケジュールについて

③ 子育てサロン担当者交流会（開催回数：1回）

校区福祉委員会の子育てサロンに携わる福祉委員やボランティアが、親子との楽しい場のつくり方を学び、相互の情報交換、交流を図ることにより、市域全体として子育てサロンの活性化を図りました。

実施日　3月 18日（月）
会　場　保健福祉センター5階 多目的ホール
参加数　40人
内　容　講　義「行政の役割・地域の役割　子育ての今と昔」
　　交流会「情報交換と活動の共有など」
講　師　寝屋川市こども部子育て支援課
　　係長　島津　香織　氏
　　たんぽぽ保育所子育て支援センター
　　利用者支援専門員　濱田　みゆき　氏
　　おやこほっとステーション
　　利用者支援専門員　池田　由以子　氏
　　子育てリフレッシュ館
　　子育てコンシェルジュ　土肥　美紗子　氏

④ 校区福祉委員会ボランティア部会長会の開催（開催回数：6回）

第1回　4月 25日（火）　20校区＋ボランティア相談員1人
〔1〕新ボランティア部会長の紹介
〔2〕校区ボランティア部会長会の役割について
〔3〕第4回やってみよう会　～手遊び・ゲーム・手作りなど～
〔4〕令和4年度活動報告・令和5年度活動計画について
〔5〕ボランティアセンターからのお知らせ
①ボランティアセンター通信 138号について
②ボランティア講座（入門編）を共催する校区福祉委員会ボランティア部会の確認

第2回　6月27日（火）　21校区＋ボランティア相談員1人

〔1〕新ボランティア部会長の紹介

〔2〕第5回やってみよう会　～手遊び・ゲーム・手作りなど～

〔3〕令和5年度活動計画について

〔4〕ボランティアセンターからのお知らせ

①ボランティアセンター通信139号について

②ボランティア講座（入門編）について

③夏のボランティア体験プログラムについて（予定）

④ボランティア講座（技術編）について（予定）

〔5〕第9回語ろう会　～今こんな感じやで～

第3回　8月29日（火）　19校区＋ボランティア相談員1人

〔1〕第6回やってみよう会～手遊び・ゲーム・手作りなど～

〔2〕管外研修について

〔3〕ボランティアセンターからのお知らせ

①ボランティアセンター通信140号について

②ボランティア講座（入門編）について

②夏のボランティア体験プログラムについて（8月19日開催）

③ボランティア講座（技術編）について（8月22日開催）

〔4〕第10回語ろう会　～今こんな感じやで～

第4回　10月24日（火）　19校区

〔1〕第7回　知ってみよう会　～手遊び・ゲーム・手作りなど～

〔2〕ボランティアセンターからのお知らせ

①　ボランティアセンター通信141号について

②　ボランティア講座（入門編）について

〔3〕管外研修について

〔4〕第11回語ろう会　～今こんな感じやで～

第5回　12月19日（火）　15校区＋ボランティア相談員1人

〔1〕管外研修（交野市社会福祉協議会）

テーマ　「男性のつどいの場づくり」

内　容　　講義および意見交換会

第6回　2月27日（火）　19校区

〔1〕ボランティアセンターからのお知らせ

①　ボランティアセンター通信143号について

②　ボランティア講座（入門編）について

〔2〕管外研修について

〔3〕第8回やってみよう会～手遊び・ゲーム・手作りなど～

〔4〕第 12 回語ろう会　～今こんな感じやで～

〔5〕その他

① 令和 6 年度年間予定

② 令和 6 年度年間計画

③ 役員改選

⑤ 校区福祉委員研修会の開催

〔1〕校区福祉委員会指導者研修会

実施日　2 月 16 日（金）

参加数　35 人

内　容　個人情報の取り扱いと地域福祉活動への活用方法

講　師　大阪府社会福祉協議会　地域福祉部　小笠原　伊織　氏

⑥ 個別ケース検討会議の開催

コミュニティソーシャルワーカー（CSW）が、校区の実情に併せてまちかど福祉相談員連絡会等を活用して開催しました。

⑦ 事例研究会の実施（開催回数：3 回）

コミュニティワーク（CW）、コミュニティソーシャルワーク（CSW）を担う事務局職員の専門性の向上を目的として研究者を講師として実施しました。

＊（コミュニティワーク）住民が地域生活を営んでいくうえで生じる様ざまな問題に、住民自身が主体的・組織的に取り組むとともに、問題解決に必要な資源の調達や連携を図っていく過程を援助する社会福祉の方法

＊（コミュニティソーシャルワーク）支援を必要とする人に対して、地域を基盤とする活動やサービスを結びつけることや新たなサービスの開発、また、公的制度の活用も視野に入れた支援を総合的に行っていく個別支援の方法

〔1〕実施日　第 1 回　8 月 2 日（水）

事例「障害受容が難しい方への関わり方」

第 2 回　12 月 6 日（水）

事例「家事を行うひきこもりの娘への関わり方」

第 3 回　3 月 4 日（月）

事例「母子が共依存している困窮世帯への関わり方」

〔2〕講　師　　大阪公立大学大学院　講師　鵜浦　直子　氏

⑧ 寝屋川ふくし発見プラン助成金事業（助成団体数：2校区）

校区福祉委員会が自主性・自発性、創意工夫を発揮して、新たな事業の立ち上げや充実を図ることを通じ「地域の福祉力」を高めています。

＜宇谷校区福祉委員会＞

内　容　　地域の高齢者と幼児、児童を中心に演芸鑑賞や模擬店による世代を問わない相互交流の機会を提供するための催し「元気まつり」を開催しました。

助成額　100,000円

＜啓明校区福祉委員会＞

内　容　　地域住民を対象とし、多世代・親子・友人間での交流の機会を生み出し元気で明るい健全なふくしのまちづくりの一環とすることを目的として、星空の下での映画観賞会を開催しました。また、令和5年度は啓明小学校児童の中から「こどもボランティア」を複数人任命し、運営補助の役割を担っていただきました。

助成額　100,000円

２．まちかど福祉相談所拡充事業

地域における見守り・発見・相談・つなぎのセーフティネット体制づくりを行います。また、制度の狭間や複数の福祉課題を抱えるなど、既存の福祉サービスだけでは困難な問題に対し、新たなサービスや仕組みの開発を行うとともに相談の充実を図りました。

(1) まちかど福祉相談所の実施

① まちかど福祉相談所相談員養成研修会の実施

まちかど福祉相談所相談員として活動に関わる相談員を養成することを目的に実施しました。

実 施 日　①6 月 30 日（金）、②7 月 14 日（金）
会　　場　①保健福祉センター健康指導室 A・B　②市民会館　第一会議室
修 了 数　23 人
内　　容　〔1〕まちかど福祉相談所の取組み紹介
〔2〕福祉制度・相談窓口について
関係機関の資料を配布し、関係職員から制度や他機関の概要を学びました。
〔3〕話を聴くためのコミュニケーション技法を学ぶ
演習講師：佐々木　優水　氏
〔4〕「まちかど福祉相談所体験会」
先輩相談員から、まちかど福祉相談所の雰囲気や相談対応を学びました。
まちかど福祉相談所の１日の流れや寄せられる相談例を紹介しました。

② まちかど福祉相談所相談員現任研修会の実施

まちかど福祉相談所の現任相談員を対象にスキルアップを目的に実施しました。

実 施 日　３月 22 日（金）
会　　場　市民会館　第一会議室
参 加 数　43 人
内　　容　精神障害のある人への対応方法について学ぶ
講　　師　社会福祉法人みつわ会　多機能型事業所キャンバス　所長　田口 和磨 氏
当事者

③エリア別まちかど福祉相談所相談件数

対象者及び内容		西北	南	東北	西	東	西南	計
対象者	高齢者	7(△1)	43(-)	23(6)	24(8)	34(△25)	21(8)	152(△4)
	障害者	5(2)	5(△1)	4(-)	3(-)	6(3)	2(△1)	25(3)
	子ども	- (-)	1(-)	1(-)	1(1)	4(1)	1(-)	8(2)
	＊その他	11(3)	21(6)	-(△1)	24(4)	10(8)	14(5)	80(25)
計		23(4)	70(5)	28(5)	52(13)	54(△13)	38(12)	265(26)
相談内容	高齢者関係	8(-)	46(-)	23(5)	24(8)	40(△19)	21(8)	162(2)
	障害者関係	8(3)	7(△2)	8(△2)	5(△2)	10(4)	1(△3)	39(△2)
	子育て・子どもの教育関係	- (-)	1(-)	1(-)	1(1)	6(2)	-(△２)	9(1)
	母子(父子)家庭関係	- (-)	- (-)	- (-)	1(1)	- (-)	- (-)	1(1)
	ＤＶ被害関係	- (-)	- (-)	- (-)	1(1)	- (-)	- (-)	1(1)
	ホームレス関係	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (△1)	- (-)	- (△1)
	外国人関係	- (-)	- (-)	- (△1)	1(1)	1(1)	- (-)	2(1)
	福祉制度関係	14(8)	17(△4)	12(5)	3(△1)	28(△3)	14(7)	88(12)
	生活費関係	10(-)	6(-)	9(5)	8(3)	3(△1)	-(△1)	36(6)
	住宅関係	13(5)	1(△4)	2(△2)	5(-)	8(4)	12(11)	41(14)
	地域福祉・Ｖ活動関係	4(3)	22(15)	3(△3)	1(△2)	2(△4)	5(3)	37(12)
	健康相談関係	4(2)	5(2)	7(△4)	17(10)	2(△16)	-(△1)	35(△7)
	その他	11(4)	22(4)	6(2)	21(△5)	13(1)	25(8)	98(14)
計		72(25)	127(11)	71(5)	88(15)	113(△32)	78(30)	549(54)
相談所開催日数		45(6)	87(9)	55(6)	72(22)	65(△1)	103(32)	427(74)

＊相談内容「その他」の主な内容

有償活動、近隣トラブル、地域のごみ集積所、相続登記義務、宗教、就労など

(2) まちかど福祉相談所拡充事業の実施

まちかど福祉相談所の充実発展に各エリアが取り組みました。

各エリア	主な取り組み
① 西北エリア 開催回数 45 回	【西北まちかど福祉相談所】43 回 ・ 西北まちかど福祉相談所運営委員会　9 回 ・ 出張まちかど福祉相談所の実施（西北コミュニティセンター）2 回 ・ 夏季集中見守り活動の推進 ・ 西北まちかど福祉相談員交流会（勉強会）
② 南エリア 開催回数 87 回	【木田校区まちかど福祉相談所】12 回 【木田校区かやしま福祉相談所】9 回 【堀溝ほほえみなんでも相談所】49 回 ・堀溝ほほえみなんでも相談所相談員連絡会　7 回 【“みなみ” なんでも福祉相談所】10 回 【楠根まちかど相談処“わいわい”】7 回
③ 東北エリア 開催回数 55 回	【第五まちかど福祉相談所】　21 回 ・第五まちかど福祉相談所の今後に向けての話し合い　1 回 【宇谷まちかど福祉相談所】　11 回 【三井まちかど福祉相談所】　23 回
④ 西エリア 開催回数 72 回	【西校区あったか何でも相談所】39 回 ・西校区あったか何でも相談所相談員連絡会 12 回 ・出張まちかど福祉相談所の実施（春日住宅集会所）1 回 【池の里まちかどなんでも相談所】22 回 ・出張まちかどなんでも相談所の実施（第八中学校校区地域包括支援センター）10 回 ・池の里まちかどなんでも相談所相談員連絡会　4 回
⑤ 東エリア 開催回数 65 回	【梅が丘まちかど福祉相談所】　42 回 ・梅が丘まちかど相談員連絡会　6 回 ・出張まちかど相談所の実施（梅が丘南集会所）1 回 【中央まちかど福祉相談所】12 回 ・中央まちかど福祉相談所相談員連絡会　12 回 【明和校区まちかど福祉相談所】11 回
⑥ 西南エリア 開催回数 103 回	【和光まちかどふくし相談所】43 回 ・和光まちかどふくし相談所連絡会　11 回 【西南エスポアールまちかど福祉相談所】58 回 ・西南エスポアールまちかど相談所運営委員会　6 回 ・西南エスポアールまちかど相談所運営委員相談員合同会議　2 回 ・出張まちかど相談会の実施（仁和寺町公民館）1 回 ・出張まちかど相談会の実施（下神田公民館）1 回

(3) コミュニティソーシャルワーカー（ＣＳＷ）連絡会の開催

個別の支援や地域の支援など、福祉課題を抱える人を地域で支える仕組みづくりのために、情報共有や問題解決の方策等について定期的に話し合いました。

開催回数　12 回

3．緊急時安否確認（かぎ預かり）事業

ひとり暮らし高齢者の孤立死等の事故を予防することを目的とした緊急時安否確認(かぎ預かり)の仕組みを、全エリアの校区福祉委員会、市内21か所の福祉施設と協力して実施しています。内容は、65歳以上でひとり暮らし高齢者の内、利用を希望する人を対象に、玄関の鍵を預かり、緊急事態と思われるときに、鍵を使って家屋内に入り安否確認等を行うものです。

(1) かぎ預かり利用者数

利用者数	新規申込	解約
913人(45)	119(23)	74(22)

(2) 緊急対応の状況

対応件数　27件（鍵使用20件／鍵未使用7件）

緊急対応時間帯	対応数
午前（8時～12時）	14
午後（12時～18時）	10
夜間（18時～21時）	2
深夜・早朝（21時～8時）	1
計	27

緊急対応の状況	対応数
救急搬送	4
死亡	1
在宅	11
入院中（外出中）	3
鍵の紛失	5
その他	3
計	27

※その他

① 親族からの連絡で鍵を使用するも留守であった。

② 利用者が自宅の庭で転倒し動けないとケアマネジャーに連絡し、ケアマネが施設に鍵を取りに行き対応する。

③ 窓ガラスを割って救急搬送された本人が入院中に貴重品が自宅に残ったままであった為、かぎを使用して入室し本人に届ける。

(3) かぎ保管協力施設　　21施設

法人区分	施設数
社会福祉法人	14
医療法人	3
株式会社	4
計	21

(4) かぎ預かり事業への視察対応等

3月12日（火）　17人　八尾市社会福祉協議会（地区福祉委員長、事務局職員）

緊急時安否確認（かぎ預かり）事業　かぎ保管協力施設一覧

エリア	校区	法人名	施設区分	施設名
西北	木屋	社会福祉法人　香西会	特別養護老人ホーム	香西園
	北	社会福祉法人　広成福祉会	特別養護老人ホーム	香里寿苑
	石津	社会福祉法人　たちばな会	特別養護老人ホーム	寝屋川石津園
	田井			
南	木田	株式会社 カームネスライフ	グループホーム	ここから木田元宮
	楠根	社会福祉法人　秋桜福祉会	グループホーム	楠根の里
	堀溝	医療法人　河北会	介護療養型医療施設	河北病院
		社会福祉法人　香西会	特別養護老人ホーム	香西会テレサ
	南			
東北	国松緑丘	社会福祉法人　東和福祉会	特別養護老人ホーム	寝屋川苑
	第五			
	三井			
	宇谷			
西	池田	社会福祉法人　栄光会	特別養護老人ホーム	寝屋川十字の園
	桜			
	点野	医療法人　大雲会	介護老人保健施設	点野やすらぎの里
	西	株式会社　ﾕﾆﾏｯﾄそよ風	グループホーム	寝屋川ケアセンター そよ風
東	梅が丘	社会福祉法人　東香会	特別養護老人ホーム	いちょう園
	明和			
	中央	株式会社　ｴﾌｴﾑｼｰ介護ｻｰﾋﾞｽ	グループホーム	FMC グループホーム
	東	社会福祉法人　淳風会	ケアハウス	グリーンヒル淳風
		社会福祉法人　香西会	特別養護老人ホーム	香西会スバル
西南	神田	社会福祉法人　いわき会	特別養護老人ホーム	神田の里
		社会福祉法人　真清福祉会	ケアハウス	ロイヤルライフ・カミダ
	啓明	株式会社　白寿会	要介護対応 高齢者マンション	グレイス寝屋川
	成美	社会福祉法人　いわき会	グループホーム	錦の里
	和光	医療法人　協仁会	グループホーム	第２なごやか
		社会福祉法人　真清福祉会	特別養護老人ホーム	ロイヤルライフ・天寿苑

4．地域支え合い推進事業（生活支援体制整備事業）〈市からの受託事業〉

高齢者の社会参加と介護予防推進のため、地域で支え合う活動づくりや高齢者が気軽に集える場所といった資源開発やネットワークづくり、ニーズと取り組みのマッチングなど、地域における支え合い体制づくりに取り組みます。

(1) 推進体制

第１層（市域）地域支え合い推進員３人・第２層（日常生活圏域）地域支え合い推進員３人で取組みを推進しました。

(2) 地域支え合い推進に向けた方針づくり

高齢者が自立した生活を送ることができるよう、多様な主体によるさまざまな生活支援・介護予防サービスの充実、地域における支え合い体制づくりに向けて関係機関と話し合いを行いました。

① 地域支え合い推進員調整会議（開催回数：12 回）

第１回　4 月 14 日（金）5 人

〔1〕　カシオアヤム情報精査について（検討）
〔2〕　セルフマネジメントサポート（SMS）について（報告）
〔3〕　令和５年度事業計画について（検討）
〔4〕　実績の見せ方について（検討）
〔5〕　地域支え合い推進事業の整理（検討）
〔6〕　市合同会議案件確認（4 月 24 日）
〔7〕　各エリア情報共有、包括の連携、短期集中報告など

第２回　5 月 17 日（水）7 人

〔1〕　カシオアヤム情報精査について（検討）
〔2〕　短期集中サービス・セルフマネジメントサポート（SMS）について（報告）
〔3〕　市合同会議案件確認（5 月 29 日）
〔4〕　各エリア情報共有、包括の連携、短期集中報告など

第３回　6 月 19 日（月）7 人

〔1〕　カシオアヤム情報精査（検討）
〔2〕　短期集中サービス・セルフマネジメントサポート（SMS）について（報告）
〔3〕　市合同会議案件確認（6 月 26 日）
〔4〕　研修・講座等関係（検討）
〔5〕　各エリア情報共有、包括の連携、短期集中報告など

第４回　7 月 21 日（金）7 人

〔1〕　カシオアヤム活用について（確認）
〔2〕　短期集中サービス・セルフマネジメントサポート（SMS）について（報告）
〔3〕　研修・講座等関係（検討）
〔4〕　令和６年度予算積算について（検討）

〔5〕　市合同会議案件確認（7月31日）
〔6〕　各エリア情報共有、包括の連携、短期集中報告など

第5回　8月16日（水）5人
〔1〕　カシオアヤム活用について（報告）
〔2〕　短期集中サービス・セルフマネジメントサポート（SMS）について（報告）
〔3〕　研修・講座等関係（検討）
〔4〕　令和6年度予算積算について（検討）
〔5〕　市合同会議案件確認（8月28日）
〔6〕　各エリア情報共有、包括の連携、短期集中報告など

第6回　9月15日（金）6人
〔1〕　短期集中サービス・セルフマネジメントサポート（SMS）について（報告）
〔2〕　研修・講座等関係（検討）
〔3〕　令和6年度予算積算について（検討）
〔4〕　市合同会議案件確認（9月25日）
〔5〕　各エリア情報共有、包括の連携、短期集中報告など

第7回　10月5日（木）5人
〔1〕　短期集中サービス・セルフマネジメントサポート（SMS）
〔2〕　研修・講座等関係
〔3〕　市合同会議案件確認（10月30日）
〔4〕　各エリア情報共有、包括の連携、短期集中報告など

第8回　11月15日（水）5人
〔1〕　短期集中サービス・セルフマネジメントサポート（SMS）
〔2〕　研修・講座等関係
〔3〕　市合同会議案件確認（11月27日）
〔4〕　令和6年度新事業　地域づくりリハビリテーション専門職派遣事業について
〔5〕　各エリア情報共有、包括の連携、短期集中報告など

第9回　12月19日（火）6人
〔1〕　短期集中サービス・セルフマネジメントサポート（SMS）
〔2〕　カシオアヤム公開/非公開の件
〔3〕　研修・講座等関係
〔4〕　各エリア情報共有、包括の連携、短期集中報告など

第10回　1月19日（金）5人
〔1〕　短期集中サービス・セルフマネジメントサポート（SMS）
〔2〕　研修・講座等関係

〔3〕　市合同会議案件確認（10 月 30 日）
〔4〕　各エリア情報共有、包括の連携、短期集中報告など

第 11 回　2 月 15 日（木）7 人
〔1〕　短期集中サービス・セルフマネジメントサポート（SMS）
〔2〕　各エリア情報共有、包括の連携、短期集中報告など
〔3〕　次年度事業検討
〔4〕　研修・講座等関係
〔5〕　市合同会議案件確認（2 月 26 日）

第 12 回　3 月 13 日（水）9 人
〔1〕　短期集中サービス・セルフマネジメントサポート（SMS）
〔2〕　各エリア情報共有、包括の連携、短期集中報告など
〔3〕　次年度事業検討について
〔4〕　市合同会議案件確認（3 月 26 日）
〔5〕　研修・講座等関係

② 地域支え合い推進員・市高齢介護室合同会議（開催回数 12 回）

第 1 回　4 月 24 日（月）8 人
〔1〕　各エリア報告
〔2〕　令和 4 年度事業報告・令和 5 年度事業計画について（確認）
〔3〕　短期集中サービス利用者へのかかわりについて（相談）
〔4〕　カシオアヤム情報精査について（報告）
〔5〕　アジャイル型地域包括ケア政策共創プログラムについて（報告）

第 2 回　5 月 29 日（月）10 人
〔1〕　各エリア報告
〔2〕　カシオアヤム情報精査について（報告）
〔3〕　アジャイル型地域包括ケア政策共創プログラムについて（報告）

第 3 回　6 月 26 日（月）9 人
〔1〕　各エリア報告
〔2〕　カシオアヤム打ち合わせについて（検討）

第 4 回　7 月 31 日（月）10 人
〔1〕　各エリア報告
〔2〕　カシオアヤム打ち合わせについて（報告）
〔3〕　市域ケア会議について（確認）

第5回　8月28日（月）11人
〔1〕　各エリア報告
〔2〕　カシオアヤム打ち合わせについて（報告）

第6回　9月25日（月）7人
〔1〕　各エリア報告
〔2〕　寝屋川市地域ケア会議ふりかえり（報告）

第7回　10月30日（月）7人
〔1〕　各エリア報告
〔2〕　短期集中利用者アンケート（経過報告）

第8回　11月27日（月）9人
〔1〕　令和6年度新規事業地域づくりリハビリテーション専門職派遣事業について
〔2〕　各エリア報告
〔3〕　短期集中利用者アンケート（共有）
〔4〕　カシオアヤムについて
〔5〕　生活支援体制整備事業について

第9回　12月25日（月）10人
〔1〕　各エリア報告
〔2〕　カシオアヤム公開/非公開の件
〔3〕　短期集中利用者アンケート

第10回　1月29日（月）8人
〔1〕　各エリア報告
〔2〕　カシオアヤム公開/非公開の件
〔3〕　短期集中利用者アンケート

第11回　2月26日（月）9人
〔1〕　各エリア報告
〔2〕　カシオアヤムについて（検討）

第12回　3月25日（月）5人
〔1〕　各エリア報告
〔2〕　南圏域地域診断会について
〔3〕　年度の市合同調整会議の開催頻度について（検討）
〔4〕　カシオアヤムについて（検討）

③ アジャイル型地域包括ケア政策共創プログラム　（開催回数 10 回）

高齢介護室が取り組むプログラムに本会も協力し、本市における生活支援体制整備事業の諸課題の検討、目指す姿についての意見交換を有識者と行いました。

4 月 18 日（火）、8 月 21 日（月）、9 月 20 日（水）、9 月 21 日（木）、10 月 4 日（水）
10 月 18 日（水）、10 月 19 日（木）、11 月 7 日（火）、11 月 8 日（水）、12 月 21 日（木）

④　介護予防・日常生活支援総合事業、地域支え合い推進事業合同研修（開催回数 1 回）

高齢介護室が主催する研修会に参加し、有識者による講義や関係者と意見交換を通じて両事業の目指す姿について学びました。

開催日　3 月 11 日（月）
講　師　医療経済研究機構　服部真治氏、澤田真帆氏

(3) 地域アセスメントと資源の把握

高齢者や地域のニーズを把握するとともに、社会参加（通いの場）や支え合い活動に役立つ場所やサービス、市内の取り組みについて関係機関とも連携し、情報収集を行いました。

① 関係機関との連携会議の参加

【西エリア】
・二中包括・八中包括・社協連携会議　12 回
　おとしより 110 番プロジェクトの検討、各エリアの情報共有
・府営点野住宅における通いの場立ち上げ会議　2 回
・池田西町集会所における元気アップ体操立ち上げ会議　2 回
・おとしより 110 番プロジェクトワーキングチーム会議　2 回

【西北エリア】
・西北地域包括 CSW 地域支え合い連携会議　4 回
・ええやん三中圏域井戸端会議　8 回

【南エリア】
・CSW・地域包括・地域支え合い連携会議　12 回
　参加機関からの情報共有、報告

【西南エリア】
・地域アセスメント会議　11 回
・西南圏域ケアマネジャー交流会への参加　3 回
・地区踏査　10 回
　五中包括、九中包括と地域アセスメント、地図作成

【東エリア】
・四中包括・社協連絡会　2 回
　地域課題の抽出、情報共有

【東北エリア】
・咲くら坂の会　2 回
　六中包括、十中包括、東北エリア介護保険事業所が参加。情報共有、事例検討会など
・東北圏域通いの場つながる・つくる会議　12 回

六中包括、十中包括、通所型サービス（短期集中）事業所ハーモニィーなどと情報共有、意見交換

② 市内で行われている社会参加（通いの場）や支え合い活動に役立つ場所の視察・見学

ニーズと取り組みのマッチング等に活用するため、社会資源の把握に努めました。

（46か所）

【西エリア】

・春日府営住宅 モーニング喫茶
・宝町 ふれあい喫茶
・葛原新町 食事会
・あやめ会（ひとり暮らし高齢者の会）
・池田川 池田ふれあいモーニング
・桜木町旭住宅 元気アップ体操
・長栄寺町 元気アップ体操
・仁和寺本町集会所　元気アップ体操
・西コミセン　元気アップ体操
・ウエルカフェ（ウエルシア薬局池田東町店）
・大利町公民館　元気アップ体操
・若葉町自治会館　元気アップ体操
・カフェ「ふらっと」　居場所づくり企画会議
・こちカフェ　見学

【西北エリア】

・特定非営利活動法人香里ふれ愛ハウス　モーニング喫茶
・蔦の会　元気アップ体操
・息吹子ども食堂
・西北コミセン　元気アップ体操
・アル・プラザ香里園体操教室
・エルダリーコートこころ体操教室
・北校区あいあいサロン

【南エリア】

・堀溝ほほえみなんでも相談所
・萱島東二丁目　健康体操
・楠根まちかど相談処
・萱島まちかど福祉相談所
・珈琲苑 咲蘭房　見学（青空将棋の場の拠点候補）

【西南エリア】

・成美校区ボランティア部会　いきいきサロン
・神田校区福祉委員会　わくわくウォーキング
・京都信用金庫寝屋川支店　見学（居場所づくりの拠点候補）
・友呂岐緑地　見学（西南圏域歩こう会の拠点・ルート確認）

【東エリア】
・中央校区福祉委員会　フレイル予防サロン「さくらんぼ」
・明和校区認知症マフづくり「手芸ガールズ」
・寝屋川公園ラジオ体操
・初町　元気アップ体操（初町公民館、枚方信用金庫）
・東障害福祉センター　元気アップ体操
【東北エリア】
・三井校区サロン「和み」
・宇谷校区演芸交流会
・府営三井住宅集会所「歌う会」
・成田高見台 ふれあいサロン
・香里三井Ｃ団地　元気アップ体操
・寝屋川団地　元気アップ体操
・国松緑丘校区サロン「喫茶くにまつ」
・浄土宗超泉寺サロン「いずみの広場」
・太秦桜が丘　元気アップ体操
・香里園タワー　元気アップ体操
・大谷町　元気アップ体操
・寝屋川コーポラス　元気アップ体操
・成田町老人会　悠々会サロン

(4) 資源開発

① 地域資源情報管理システム「アヤム」の活用

市高齢介護室が運用する地域資源情報管理システム「アヤム」の活用、運営を行いました。

〔1〕通所型サービス（短期集中）利用者に対して情報提供をする際にアヤムを活用しました。

〔2〕関係機関との連絡手段として掲示板機能を使用。地域包括支援センターからアヤム活用についての意見や活用方法を確認しました。（掲示板グループ数 22 グループ）

〔3〕登録している社会資源情報の精査を行いました。（資源情報数 911 件）

〔4〕アヤムを活用した通いの場打合せ（開催回数 1 回）

七中圏域をモデルに、カシオ計算機株式会社、第七中学校区地域包括支援センター、社協、高齢介護室で七中圏域の通いの場の状況について打合せを行いました。

〔5〕地域診断会（開催回数 1 回）

地域包括支援センター、社協（ＣＳＷ、地域支え合い推進員）、高齢介護室、カシオ計算機株式会社でコミュニティセンターエリアごとに地域の社会資源や地域特性の分析のための地域診断会を開催しました。令和 5 年度は南エリア（七中圏域および中木田中圏域）で開催しました。

② 通いの場づくり（実施回数：67 回）

関係機関と合同で高齢者の社会参加を目的とする通いの場づくりの企画検討を進めました。通所型サービス（短期集中）事業所と、利用後の新たな活躍の場としての社会資源構築に向けて検討を行いました。

〔1〕深北緑地歩こう会の実施（実施回数：6 回）

河北病院、七中包括、中木田中包括との通いの場づくり会議で深北緑地歩こう会を企画・実施しました。

対象者：リハビリデイ河北での通所型サービス（短期集中）卒業者
内　容：歩くことによる健康増進と体力の向上を目的として開催
場　所：深北緑地公園
開催日：毎月第 4 火曜日

〔2〕青空将棋の場（実施回数：10 回）

七中包括、中木田中包括、居宅介護支援事業所との通いの場づくり会議で将棋の集い場を企画し開催しました。

対象者：65 歳以上の高齢者
内　容：将棋を通して、参加者間の交流の場として開催
場　所：七中包括
開催日：毎月第 2 月曜

〔3〕Noconoco おいでぇや（実施回数：21 回）

居宅介護支援事業所と協働し、対象を限定しない通いの場「Noconoco おいでぇや」の活動支援をおこないました。

対象者：地域住民
内　容：共生型サロン（気軽な交流の場、軽易な体操等）
場　所：居宅介護支援事業所「N ログⅢ」
開催日：毎月第 2・4 金曜

〔4〕「ツルナリエ寝屋川」の開催（実施回数：4 回）

イズミヤ SC 寝屋川との企画会議を重ね、折り鶴をつなぎ合わせるボランティアの調整、および認知症の方などを含む高齢者などの活躍の場を設けました。

対象者：主に高齢者や認知症のある方など地域住民
内　容：認知症があっても活躍できる活動や居場所づくり
場　所：本会ボランティアセンター
開催日：月 1 回程度

〔5〕「明和手芸ガールズ」（実施回数：11 回）

明和校区福祉委員会ボランティア部会員中心の「明和手芸ガールズ」による、地域住民に多様な参加方法を呼びかけた認知症マフづくりと、高齢者施設への寄贈活動を支援しました。

対象者： 認知症高齢者、地域住民
内　容： 認知症マフの製作と高齢者施設への寄贈
場　所： 東障害福祉センター
開催日： 月 1 回程度

〔6〕「淀川有志の会」（実施回数：11 回）

淀川有志の会による淀川河川敷ラジオ体操を企画し、支援しました。

対象者： 地域住民（世代や属性問わず）
内　容： ラジオ体操
場　所： 鳥飼仁和寺大橋下河川敷、八中包括会議室
開催日： 毎週月曜（八中包括）、毎週月・水・金（淀川河川敷）

〔7〕「みんなのカフェ」の立上げ支援（実施回数：4 回）

池田校区内における通いの場づくり協議体において、若葉町のカフェの空き時間を活用した居場所「みんなのカフェ（仮）」を企画し、立上げに向けた検討を支援しました。

対象者： 地域住民
内　容： 共生型サロン（気軽な交流の場等）
場　所： 若葉町内
開催日： 未定

(5) ネットワーク構築

多様な関係主体が参画し情報共有や連携、協働による取り組みを推進する、市域全体の第 1 層協議体（市が設置運営）へ参加・協力しています。また、日常生活圏域（第 2 層）ごとに諸課題に応じて関係者との連携を行います。

① 河北病院、七中包括、中木田中包括との通いの場づくり会議　12 回
② 淀川有志のつどいミーティング　19 回
③ ねやがわシンポジウム Fellow
（通所型サービス〔短期集中〕関係機関の意見交換会）　3 回
④ イズミヤ寝屋川店「ツルナリエ寝屋川」企画会議　4 回
⑤ 寝屋川市地域ケア会議
〔1〕 1 層：寝屋川市域地域ケア会議への参加（9 月 20 日）
〔2〕 2 層：西南圏域地域ケア会議への参加（11 月 11 日）
南圏域地域ケア会議への参加（12 月 22 日）
西北圏域地域ケア会議への参加（3 月 14 日）
西圏域地域ケア会議への参加（2 月 20 日）
東北圏域地域ケア会議への参加（3 月 26 日）

東圏域地域ケア会議への参加（3 月 28 日）

〔3〕 介護予防ケアマネジメント会議への参加　3 回

⑥ウエルシア寝屋川池田東町店での会議　5 回

(6) ニーズと取り組みのマッチング

① 通所型サービス（短期集中）利用後の地域活動サポート

通所型サービス（短期集中）に取り組む事業所（9 事業所）に通う利用者に対し支援しました。令和 5 年度より、利用者全件を受け付けたうえで、必要に応じて支援を行いました。

受付件数　346 件　/　支援者数　194 人（継続者　66 人　終結者　128 人）

支援回数　339 回

支援内容　社会参加に関する情報提供、就労情報提供など

②セルフマネジメントサポート（SMS）利用者の社会参加支援

セルフマネジメントサポート（SMS）に取り組む事業所（3 事業所）に通う利用者全員に第 2 層地域支え合い推進員が関わり利用後の社会参加に向けての支援を行いました。

受付件数　92 件

対応件数　54 件

③ 通所型サービス（短期集中）利用者アンケートの実施

摂南大学現代社会学部上野山氏に協力のもと令和 5 年 12 月から令和 6 年 2 月の間、通所型サービス（短期集中）利用者を対象にアンケート調査を行いました。

対　象　通所型サービス（短期集中）利用者

内　容　日常生活意向調査（自宅での過ごし方、地域活動への参加意向等）

回収件数　57 件

５．ボランティアセンター事業

市民のボランティア活動に対する理解と関心を高めるとともに、ボランティアの育成及び需給調整など活動の支援を行うことによってボランティア活動の効果的な推進を図っています。

(1) ボランティアセンター運営事業

① ボランティアセンター運営委員会の開催（開催回数：6回）

第1回　5月18日（木）　13人

〔1〕令和5年度ボランティアセンター事業の年間予定について（連絡）

〔2〕令和5年度ボランティア登録状況について（報告）

〔3〕ボランティアセンター通信138号発行（報告）

〔4〕令和5年度ボランティア講座及び各種会議について（報告）

①校区ボランティア部会長会（4月25日）

②登録ボランティアグループ連絡会（5月9日）

〔5〕団体登録の新規申請について（検討）

〔6〕検討課題「開かれたボランティアセンターを目指して　～活動の見える化 編～」

第2回　7月20日（木）　13人

〔1〕自己紹介

①名簿

②ボランティアセンター並びに運営委員会の役割機能

③正副委員長の選出について

〔2〕団体登録の新規申請について（検討）

〔3〕ボランティアセンター通信139号発行(報告)

〔4〕令和5年度ボランティア講座及び各種会議について（報告）

①校区ボランティア部会長会（6月27日）

②夏のボランティア体験プログラム（8月19日）

③ボランティア講座技術編（8月22日）

〔5〕意見交換「開かれたボランティアセンターを目指して ～子どものボランティアの芽を育てるための取り組み～」(検討)

第3回　9月21日（木）　12人

〔1〕ボランティアセンター通信140号発行(報告)

〔2〕令和5年度ボランティア講座及び各種会議について（報告）

①登録ボランティアグループ連絡会（8月1日）

②夏のボランティア体験プログラム（8月19日）

③ボランティア講座技術編（8月22日）

④ボランティア部会長会（8月29日）

〔3〕団体登録の新規申請について（検討）

〔4〕検討課題「開かれたボランティアセンターを目指して ～子どものボランティアの芽を育てるための取り組み～」

第4回　11月16日（木）　11人

〔1〕ボランティアセンター通信141号発行（報告）

〔2〕令和5年度ボランティア講座及び各種会議について（報告）

① 校区ボランティア部会長会（10月24日）

② 登録ボランティアグループ連絡会（11月7日）

〔3〕意見交換

① ボランティアポイント事業について報告

② ぼらんぼらん（ボランティア活動者向けパンフレット）について

第5回　1月18日（木）　11人

〔1〕ボランティアセンター通信142号発行(報告)

〔2〕令和5年度ボランティア講座及び各種会議について（報告）

① 大阪府市町村ボランティア連絡会　河北ブロック交流会（11月28日）

② 校区ボランティア部会長会（6月27日）

③ ボランティア講座入門編　神田校区（1月14日）

④ ボランティア講座シニア編（2月5日、2月8日予定）

〔3〕団体登録の新規申請について（検討）

〔4〕意見交換

① ボランティアポイント事業　第1回、第2回ぼらポ隊実行委員会の報告

② 市民向けボランティア講座のテーマ検討

第6回　3月21日（木）　11人

〔1〕ボランティアセンター通信143号発行(報告)

〔2〕令和5年度ボランティア講座及び各種会議について（報告）

① ボランティア相談員視察交流（1月30日）

② ボランティア講座シニア編（2月5日、2月8日）

③ 登録ボランティアグループ連絡会（2月6日）

④ 校区ボランティア部会長会（2月27日）

⑤ 災害時に備えた地域丸ごと座談会

（梅が丘校区、北校区、楠根校区、点野校区、明和校区）

〔3〕団体登録の新規申請について（検討）

〔4〕意見交換

① ボランティアポイント事業　第3回、第4回ぼらポ隊実行委員会の報告

② ボランティア活動者向けパンフレット（ぼらんぼらん）の最終校正

〔5〕令和6年度ボランティアセンター運営委員会 年間予定

② ボランティア相談員連絡会の開催（開催回数：12回）

ボランティア活動希望者の相談や個人、施設等からのボランティア依頼、需給調整を行っています。週3回、総勢9人のボランティア相談員で対応しています。

開催日（出席者）

4月17日（8人）、5月15日（9人）、6月19日（7人）、7月10日（7人）、8月21日（9人）、9月11日（8人）、10月16日（6人）、11月20日（7人）、12月11日（7人）、1月22日（7人）、2月19日（5人）、3月18日（6人）

(2) ボランティア研修事業

①ボランティア講座（入門編）の開催（開催回数：1回）

ボランティア講座（入門編）

講座名　親子で防災教室
開催日　1月14日（日）
会　場　市立神田小学校　体育館、家庭科室、校庭
参加数　18人
内　容　防災教室（AED講習会、初期消火訓練）、防災食アレンジ料理教室、神田校区福祉委員会（ボランティア部会）活動紹介
講　師　枚方寝屋川消防組合神田出張所、神田校区福祉委員会ボランティア部会

②ボランティア講座（技術編）の開催（開催回数：1回）

ボランティア講座（技術編）

講座名　上手な会議の作法を身につけよう！
開催日　8月22日（火）
会　場　寝屋川市民会館　第1会議室
参加数　31人
内　容　グループワークを通して、改めて活動の場におけるコミュニケーションの重要性を理解すると共に、皆が「参加してよかった」と思える会議運営のノウハウを学ぶ。
講　師　川島　憲志　氏

③ボランティア講座（シニア編）の開催（開催回数：1回）＜市からの委託事業＞

ボランティア講座（シニア編）

講座名　昔あそびボランティア養成講座～「あの頃の楽しい思い出」活かしませんか！？～
開催日　①2月5日（月）、②2月8日（木）
会　場　市民会館　研修室
参加数　①9人　②13人
内　容　①有識者より子どもを対象としたボランティア活動に取り組むにあたり大切な姿勢について学ぶ。
②福祉教育（昔あそび）で活躍している福祉委員の経験談を聴き、昔あそびの魅力を発見していただく。
講　師　①「ふくしと教育の実践研究所　SOLA」（主宰）　新崎　国広　氏
②啓明校区福祉委員会　乾　光江　氏、三谷　茂　氏

④ボランティア体験プログラムの実施（大阪府社協との共催事業）

ボランティア体験プログラム～親子でボランティア体験～
プログラム名　行こう、レトロな夏へ。タイムマシンで大冒険！ 開催日　8月19日（土） 会　場　障害者生活介護 さん・すまいる 参加数　10人 内　容　作業見学・体験（紙すき・カバンスタンプなど）や、さん・すまいる利用者との交流を通して、福祉やボランティアに触れる。 協　力　障害者生活介護 さん・すまいる、ボランティアセンター相談員

(3) ボランティアセンター通信の発行（発行：6回／各2,000部発行）

発行日	号	主な内容
5月1日	138	中学生に芽生えた「自分にできるボランティア」 あっちこっちで活躍「七中ボランティア隊」
7月1日	139	福祉体験で「思いやり」の種まき　石津小学校～車いす体験～
9月1日	140	親子でボランティア体験！
11月1日	141	これからの会議はバッチリ!!「上手な会議の作法を身につけよう！」
12月20日	142	ボランティア活動の熱い思い集結～河北ブロック交流会～
3月1日	143	若い世代に伝えたい　ボランティア活動者のおもい

(4) ボランティア活動支援事業

① 活動に関する相談・援助・需給調整の実施

相　談	
活動参加相談	30(15)
活動希望相談	61(25)
計	91(40)

調　整	
活動実施件数	73(42)
参加V数	259(149)
情報提供件数	16(△3)

② ボランティアの育成・組織化の実施

ボランティアセンターへの相談者に地域や施設などでボランティア活動が始められるよう、また、継続して活動が続けられるよう個別相談に応じ個人ボランティアや組織の育成に努めました。

③ 若年層へのボランティア活動推進

小・中学生を対象にボランティア活動のきっかけづくりをすすめるため、ボランティアセンター運営委員と実行委員会を立ち上げ協議しました。

④ 活動に必要な場所の提供（ボランティアセンター室）

時間帯	計
午前	173(16)
午後	217(42)
夜間	13(△1)
計	403(57)

(5) 登録ボランティアグループ連絡会の開催

①登録ボランティアグループ連絡会役員会の開催（開催回数：5回）

第1回　役員会　4月11日（火）　3人

〔1〕次回の連絡会の案件について

第2回　役員会（臨時）　5月24日（水）　3人

〔1〕大阪府市町村ボランティア連絡会 河北ブロック交流会について

第3回　役員会　7月4日（火）　3人

〔1〕次回の連絡会の案件について

第4回　役員会　10月17日（火）　3人

〔1〕次回の連絡会の案件について

第5回　役員会　1月16日（火）　3人

〔1〕次回の連絡会の案件について

②登録ボランティアグループ連絡会の開催（開催回数：4回）

第1回　連絡会　5月9日（火）　23団体

〔1〕事務局からの連絡

〔2〕役員改選について

〔3〕大阪府市町村ボランティア連絡会 河北ブロック交流会について

〔4〕団体紹介冊子について

〔5〕ボランティアセンター相談員からのお知らせ

〔6〕各団体からのお知らせ

第2回　連絡会　8月1日（火）　28団体

〔1〕事務局からの連絡

〔2〕大阪府市町村ボランティア連絡会 河北ブロック交流会について（案）

〔3〕連絡会に期待すること

〔4〕各団体からのお知らせ

第3回　連絡会　11月7日（火）　32団体

〔1〕事務局からの連絡

〔2〕大阪府市町村ボランティア連絡会　河北ブロック交流会について

〔3〕提案事項

〔4〕各団体からのお知らせ

第４回　連絡会　２月６日（火）　32団体

〔1〕事務局からの連絡

〔2〕登録ボランティアグループ連絡会からの報告と連絡

〔3〕「登録ボランティアグループ連絡会を知ってもらおう会」（仮）について

〔4〕各団体からのお知らせ

③大阪府市町村ボランティア連絡会 河北ブロック交流会

今年度は寝屋川市が担当市となり、河北ブロック間で情報共有をするとともに、会員同士の交流を図ることを目的に開催しました。

開催日：10月27日（金）

会　場：市民会館　小ホール

参加数：42人

内　容：第１部 団体活動紹介、第２部 交流会「未来につなごうボランティア」

(6) 資材教材の貸出し

学校やボランティアグループ、市民活動団体、行政に対して貸出しを行いました。

【感染防止対策】

・使用前後に申請団体で消毒を実施

・使用後は使用報告書を提出

① 教材用車イス貸出状況

件　　数	30(△36)
貸出台数	1,111(413)

② 教材用アイマスク貸出状況

件　　数	7(7)
貸出枚数	863(863)

③ 教材用擬似体験装具貸出状況

件　　数	15(△6)
貸出台数	386(134)

④ 教材用点字板貸出状況

件　　数	10(△12)
貸出枚数	1,340(300)

⑤ プロジェクター貸出状況

件　　数	16(4)
貸出台数	16(4)

⑥　教材用ＤＶＤ貸出状況

件　　数	1(△13)
貸出台数	7(△21)

＊上記①～⑥貸出数は延べ数で記載

(7) ボランティアセンターに登録している団体・個人

団　体	52(5)
団体（人数）	920(83)
個　人	32(8)

(8) 災害ボランティアセンタースタッフ登録者

11 人（△1）

(9) 災害ボランティアセンター事前登録ボランティア

8 人（1）

(10) 災害時に備えた地域丸ごと座談会の開催（モデル校区：５校区）

災害時に備えての座談会のモデル実施校区を募集しました。

校区	内容
点野校区 福祉委員会	開催日：2 月 8 日（木） 会　場：西コミュニティセンター 講　師：岩木 啓子 氏（ライフデザイン研究所 FLAP） 参加数：17 人 内　容：災害時に備えるため、地域住民との意見交換を通して、顔の見える関係性作りと平時から取り組む必要のあることを考える。
楠根校区 福祉委員会	開催日：2 月 17 日（土） 会　場：楠根南町公民館 講　師：事務局職員 参加数：53 人 内　容：災害時に支援が必要な方と地域住民との意見交換を通して、顔の見える関係性作りと平時から取り組む必要のあることを考える。災害時の安否確認を迅速におこなうための目印を作成した。
明和校区 福祉委員会	開催日：2 月 19 日（月） 会　場：東障害福祉センター 講　師：災害ボランティア経験者（地域住民） 参加数：24 人 内　容：災害時に備えるため、地域住民との意見交換を通して、顔の見える関係性作りと平時から取り組む必要のあることを考える。

校区	内容
北校区 福祉委員会	開催日：2月20日（火） 会　場：西北コミュニティセンター 講　師：岩木 啓子 氏（ライフデザイン研究所 FLAP） 参加数：15人 内　容：災害時に備えるため、地域住民との意見交換を通して、顔の見える関係性作りと平時から取り組む必要のあることを考える。
梅が丘校区 福祉委員会	開催日：3月24日（日） 会　場：府営打上住宅4集会所 講　師：事務局職員、障害者の方がいる家族（地域住民） 参加数：20人 内　容：災害時に支援が必要な方と地域住民との意見交換を通して、顔の見える関係性作りと平時から取り組む必要のあることを考える。

(11)　主な災害用備品状況

備品	計	備品	計
収納コンテナボックス	12	チェーンソー	2
エアテント	3	長靴	21
簡易テント	1	雨具	15
ビブス（ベスト）	600	看板（標示）	9
軍手	500	トランシーバー	10
カゴ台車	6	踏み抜き防止ソール	60
折り畳み式リヤカー	3	折畳み太陽光発電パネル	1
蛍光灯	6	ポータブル蓄電池	1
ガソリン式発電機	3	ポータブルナビ	2
ガスボンベ式発電機	2	３連梯子	2
投光器	5	ヘルメット	50

*市の協力を得て、市防災備蓄センターで災害用備品を保管しています。

(12) 市防災備蓄センター災害用備品点検

９月１２日（火）と３月８日（金）に市防災備蓄センターにて保管中の災害用備品の点検を行いました。

(13) 寝屋川中央ライオンズクラブと「災害時におけるボランティア支援に関する協定」締結

災害が発生した被災地において活動するボランティアに向けた支援が迅速かつ効果的に行われるために、寝屋川中央ライオンズクラブと「災害時におけるボランティア支援に関する協定」を締結しました。(締結日 10 月 25 日)

(その他災害に関する協定締結状況)

①「災害時におけるボランティアセンターの設置・運営に関する協定」

締結先：寝屋川市

締結日：平成 28 年 10 月 4 日

②「災害時における相互協力に関する協定」

締結先：一般社団法人寝屋川青年会議所

締結日：令和 3 年 12 月 3 日

６．福祉教育推進事業

子どもから高齢者、障害者など社会福祉への関心や気づきを深め、ひとり一人が自分に出来ることを考え行動する力を育む活動を行っています。また、他市の福祉教育の情報収集を行い、既存のプログラムだけではない福祉教育のあり方について検討しています。

(1)福祉学習説明会の開催

学校関係者、校区福祉委員会を対象に、本会が取り組んできた福祉学習の実践内容説明や、講師による福祉学習の在り方や福祉教育がもつ機能に関する講義、ボランティアと学校との交流、個別相談の場を設けました。

開催日：5月10日（水）
会　場：保健福祉センター5階　多目的ホール
参加者数：56人

(2)小学校・中学校・高等学校などが行う福祉学習への支援・協力

福祉学習の手引きを作成し、市内小・中・高等学校へ配付しました。

(3)新たな福祉学習協力ボランティアグループへの活動支援

こころの病を抱えた当事者グループ（チーム・ウェルビーイング（WB））による福祉学習支援のプログラム作成に向け、連絡調整を行いました。

(4)ボランティアグループ等で対応した福祉体験学習（実施回数：41回）

①擬似体験学習（対応団体：うらしまさん・各校区福祉委員会）

No.	実施日	実施先		人数	校区福祉委員会	内容		
						車イス体験	視覚障害体験	高齢者等擬似体験
1	5月22日	石津小	6年	44	石津	○		
2	10月10日	桜小	4年	52	桜		○	
3	10月12日	国松緑丘小	5年	59	国松緑丘	○		
4	10月17日	成美小	4年	63	成美		○	
5	10月23日	同志社香里中	1年	270	－	○		
6	10月24日					○		
7	10月26日	成美小	5年	43	成美	○		
8	11月2日	国松緑丘小	6年	44	国松緑丘			○
9	11月7日	桜小	5年	55	桜	○		
10	11月14日	国松緑丘小	4年	62	国松緑丘		○	
11	11月16日	池田小	3年	85	池田		○	
12	11月17日	田井小	6年	48	田井			○
13	11月21日	楠根小	5年	23	楠根	○		
14	11月24日	木田小	4年	51	木田		○	
15	11月30日	楠根小	6年	29	楠根			○

No.	実施日	実施先		人数	校区福祉委員会	内容		
						車イス体験	視覚障害体験	高齢者等擬似体験
16	12月1日	宇谷小	6年	67	宇谷			○
17	12月8日	神田小	5年	78	神田	○		
18	12月19日	神田小	4年	68	神田		○	
19	1月15日	梅が丘小	5年	65	梅が丘	○		
20	1月30日	宇谷小	5年	58	宇谷	○		
21	1月31日	池田小	5年	81	池田			○
22	2月1日	木田小	6年	63	木田			○
23	2月6日	梅が丘小	4年	38	梅が丘		○	
24	2月9日	楠根小	3年	21	楠根		○	
計				1,467		10	8	6

＊対応団体　うらしまさん⇒高齢者擬似体験ボランティアグループ

②点字　（対応団体：つくしの会）

No.	実施日	実施先		人数
1	10月11日	楠根小	3年	31
2	10月25日	第五小	4年	176
3	10月26日			
4	11月16日	国松緑丘小	3年	58
5	11月21日	香里ヌヴェール学院小	4年	84
6	11月28日	堀溝小	3年	78
7	1月30日	堀溝小	3年	66
8	2月5日	宇谷小	3年	43
計				536

＊対応団体　つくしの会⇒点訳ボランティアグループ

③障害のある当事者の話（対応団体：視覚部、新源太郎氏、チーム・ウェルビーイング）

No.	実施日	実施先		人数	対応団体及び対応者	内容		
						視覚障害について	こころの病について	身体障害について
1	10月12日	木田小	3年	71	視覚部	○		
2	10月13日	梅が丘小	6年	63	新 源太郎氏			○
3	11月16日	明和小	4年	59	視覚部	○		
4			3年	58	視覚部	○		
5	11月22日	池田小	4年	65	視覚部	○		
6	11月30日	石津小	4年	39	視覚部	○		

No.	実施日	実施先		人数	対応団体及び対応者	内容		
						視覚障害について	こころの病について	身体障害について
7	12月5日	香里ヌヴェール学院小	5年	86	視覚部	○		
8	1月15日	中央小	5年	109	視覚部	○		
9	1月15日	四中	2年	93	視覚部	○		
計				643		8	-	1

(5) 校区福祉委員会単独で対応した福祉体験学習（実施回数：25回）

No.	実施日	実施先		人数	校区福祉委員会	内容			
						車イス体験	視覚障害体験	高齢者等擬似体験	その他
1	6月6日	南小	6年	70	南			○	
2	6月14日	西小	6年	48	西			○	
3	10月10日	第五小	5年	120	第五	○			
4	10月11日	田井小	5年	68	田井		○		
5	10月11日	西小	4年	33	西		○		
6	10月27日	北小	6年	111	北	○			
7	10月26日	南小	4年	86	南		○		
8	11月9日	木屋小	5年	81	木屋			○	
9	11月15日	西小	5年	44	西	○			
10	11月16日	南小	5年	67	南	○			
11	11月17日	堀溝小	5年	53	堀溝	○			
12	11月24日	北小	4年	109	北		○		
13	11月30日	木屋小	4年	105	木屋		○		
14	12月12日	堀溝小	4年	62	堀溝		○		
15	12月19日	北小	5年	91	北			○	
16	12月19日	和光小	4年	105	和光	○		○	
17	12月20日	西小	1年	39	西				伝承あそび
18	1月9日	宇谷小	4年	61	宇谷		○		
19	1月19日	北小	1年	101	北				伝承あそび
20	2月5日	啓明小	1年	45	啓明				伝承あそび
21	2月6日	田井小	1年	57	田井				伝承あそび
22	2月8日	堀溝小	6年	51	堀溝			○	
23	2月9日	宇谷小	4年	61	宇谷		○		
24	2月27日	北小	3年	73	北		○		
25	3月15日	十中	1年	18	三井・宇谷	○			
計				1,759		7	9	6	4

7．当事者組織支援事業

同じ福祉問題を持つ人たちを組織化し、問題の当事者という立場で悩みや問題の共有や問題解決を図るための活動、関係機関とのネットワークづくり等に取り組む当事者（ひとり暮らし高齢者の会・介護者の会）の支援を行っています。

(1)組織運営の支援

① ひとり暮らし高齢者の会連絡会

〔1〕 ひとり暮らし高齢者の会連絡会の開催（開催回数：6回）

開催日	人数	内　容
4月18日（火）	4人	令和4年決算書について、令和5年度予算について（検討） 交通費配布、会長交流会日程について（検討）
6月20日（火）	4人	各会の会場使用料金に関する前渡金交付について 全体活動交流会の開催について ※連絡会終了後、会長交流会実施
8月 22日（火）	4人	連絡会ニュースについて 全体活動交流会の開催について
10月17日（火）	3人	連絡会ニュースについて 全体活動交流会の開催について
12月19日（火）	3人	連絡会ニュースについて 全体活動交流会の開催について 会則変更について（検討）
2月20日（火）	3人	全体活動交流会の開催について（振り返り） 令和6年度予算書・事業計画について（検討）

〔2〕会員数

会員数：84人（△22）

連絡会加入会数：4会（△1）

名　称	校　区
みどり会	国松緑丘
あやめ会	点野

名　称	校　区
楽寿会	第五
三友会	三井

② 介護者の会

〔1〕介護者の会理事会の開催（開催回数：11回）

開催日	人数	内　容
4月 4日（火）	10人	令和5年度事業計画・予算について 令和5年度サロン当番表・令和5年度定例会実施予定表配布 介護者の会の今後について（意見交換）
5月2日（火）	8人	令和5年度総会に向けて（確認）総会資料製本と委任状配布
6月 6日（火）	8人	令和5年度総会のふりかえり　介護者の会の今後について（意見交換） 令和 5 年度大阪府介護者（家族）の会連絡会住友生命総合健診システム（人間ドッグ）優待受診について
7月4日（火）	9人	会則変更について（検討）
9月5日（火）	8人	リフレッシュ事業、新年交流会、会則変更について

開催日	人数	内　容
10月3日（火）	7人	リフレッシュ事業、新年交流会、会則変更について
11月7日（火）	8人	リフレッシュ事業、新年交流会、会則変更について
12月5日（火）	9人	リフレッシュ事業、新年交流会、会則変更について
1月9日（火）	7人	リフレッシュ事業、新年交流会、会則変更について
2月6日（火）	7人	リフレッシュ事業、新年交流会、会則変更について 令和6年度総会に向けて（確認）日程調整
3月5日（火）	7人	リフレッシュ事業、新年交流会の振り返り 令和6年度総会に向けて（確認） 令和6年度事業計画・予算について（検討）

〔2〕介護サロンの実施

（開催回数：33回／相談件数：電話相談103件、来所相談 － 件）

介護者の会会員や一般市民が、気軽に立ち寄って介護に関する相談ができる場として、毎週木曜日に介護サロンを実施しました。

〔3〕認知症介護家族交流会の実施（開催回数：6回）

4月21日（金）　9人
6月16日（金）　9人
8月18日（金）　10人
10月20日（金）　10人
12月15日（金）　9人
2月16日（金）　4人

〔4〕リフレッシュ事業の実施

2月21日（水）22人　亀の井ホテル大和平群　日帰り温泉ツアー

〔5〕分会活動の実施

会員を市内6ブロックに分け、分会ごとに会員懇談会・交流会等活動を行いました。

（分会活動開催回数・内容）

［1分会］　6回　会員会合、老人ホーム見学
［2分会］　2回　会員交流会
［3分会］　1回　会員交流会
［4分会］　5回　会員交流会　戸別訪問
［5分会］　6回　出前講座
［6分会］　13回　地域ミニデイサービス活動コロンブスの活動協力、会員会合

〔6〕大阪府介護者（家族）の会連絡会に参加

4月27日（木）　1人　令和4年度大阪府介護（家族）の会連絡会第5回役員会
5月11日（木）　3人　大阪府介護者（家族）の会連絡会総会
6月23日（金）　1人　大阪府介護者（家族）の会連絡会第1回役員会
8月23日（水）　1人　大阪府介護者（家族）の会連絡会第2回役員会
※書面開催　　大阪府介護者（家族）の会連絡会第3回役員会
12月14日（木）　1人　大阪府介護者（家族）の会連絡会第4回役員会
2月28日（水）　2人　大阪府介護者（家族）の会連絡会第5回役員会

〔7〕会員数

会員数：80人（△23）
内　訳：正会員　19人(△10)　準会員　57人(△1)　賛助会員　4人(△12)

(2) コミュニティワークとしての支援

① ひとり暮らし高齢者の会連絡会への支援

ひとり暮らし高齢者の会活動が縮小傾向にある中、連絡会を通じて各会会長との協議を行い、会活動の支援を行っています。

② 介護者の会への支援

介護者の会活動が縮小傾向にある中、理事会や分会活動を通じて役員との意見交換や情報交換を行い、会活動の支援を行っています。

8．献血推進事業

各コミセンエリアの校区福祉委員会及び各種団体等の協力のもと、地域・団体献血を実施しました。また、赤十字血液センターが主体となり、寝屋川市内の事業所、学校、街頭にて献血を実施しました。

(1) 地域・団体献血の実施（実施回数：18 回）

月日		会　　場	主　　催	受付数	採血数
5	18	京阪寝屋川市駅東口前	中央ライオンズクラブ	35(△7)	31(△2)
	30	イオンモール四條畷	南エリア４校区福祉委員会	37(△21)	31(△18)
6	1	コーナン東寝屋川店	東エリア４校区福祉委員会	18(△3)	16(△4)
	15	エスポアール	西南エリア４校区福祉委員会	10(△7)	8(△9)
8	17	市役所本庁	北大阪赤十字血液センター	47(24)	43(24)
9	7	成田山不動尊駐車場	東北エリア４校区福祉委員会	17(△2)	10(△5)
	12	アル・プラザ香里園	西北エリア４校区福祉委員会	36(△2)	27(△3)
10	3	保健福祉センター	西エリア４校区福祉委員会	9(△7)	8(△6)
	12	京阪寝屋川市駅東口前	東エリア４校区福祉委員会	48(11)	42(7)
	17	コーナン寝屋川昭栄店	南エリア４校区福祉委員会	22(△14)	18(△16)
	19	寝屋川市立和光小学校	西南エリア４校区福祉委員会	16(△8)	7(△14)
	24	摂南大学寝屋川キャンパス	中央ライオンズクラブ	27(△5)	24(△7)
	25	摂南大学寝屋川キャンパス	中央ライオンズクラブ	27(△4)	21(△2)
1	11	寝屋川市役所	北大阪赤十字血液センター	29(△4)	23(△10)
	18	京阪寝屋川市駅東口前	中央ライオンズクラブ	14(△32)	13(△31)
2	10	ビバモール寝屋川	東北エリア４校区福祉委員会	46(△7)	36(△8)
	14	アル・プラザ香里園	西北エリア４校区福祉委員会	39(△9)	27(△14)
	16	保健福祉センター	西エリア４校区福祉委員会	16(△6)	12(△8)
計				493(△103)	397(△126)

(2) 事業所、学校、街頭献血の実績（実施回数：52 回）

区分	実施回数	受付数	採血数
事業所	32(3)	642(15)	444(△112)
学校	8(4)	239(72)	169(32)
街頭	12(△2)	551(△205)	484(△186)
計	52(5)	1,432(△118)	1,097(△266)

9．福祉有償運送事業

移動が困難な高齢者や障害者等を対象に、リフト付き車両による移送サービスを行いました。

(1) 移送サービス事業＜市からの一部受託事業＞

① 移送サービスの実施件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月
予約件数(件)		137 (△8)	127 (△11)	143 (△6)	145 (△10)	144 (15)	122 (19)
実施件数	高齢者	61 (△11)	67 (6)	75 (5)	70 (△1)	62 (33)	65 (59)
	高齢＋障害者	23 (△2)	27 (6)	30 (3)	33 (△3)	30 (18)	31 (26)
	障害者	18 (△9)	9 (△12)	7 (△21)	12 (△10)	16 (9)	6 (3)
	その他	6 (1)	6 (△4)	2 (△10)	9 (△1)	6 (1)	2 (1)
	計(件)	108 (△21)	109 (△4)	114 (△23)	124 (△15)	114 (61)	104 (89)
V参加数(人)		88 (△16)	88 (△16)	80 (△26)	92 (△16)	92 (52)	84 (72)
利用目的	通院など	80 (△11)	87 (12)	91 (△9)	96 (△8)	77 (32)	78 (65)
	施設送迎	9 (△12)	7 (△16)	10 (△8)	13 (△7)	18 (15)	8 (6)
	行事参加	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	行楽	- (△2)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	その他	19 (4)	15 (-)	13 (△6)	15 (-)	19 (14)	18 (18)
	計(件)	108 (△21)	109 (△4)	114 (△23)	124 (△15)	114 (61)	104 (89)
稼働日数(日)		26 (△2)	28 (△2)	27 (△1)	29 (△1)	30 (20)	29 (26)
走行距離(km)		2,303 (△454)	2,253 (△204)	2,217 (△751)	2,615 (△332)	2,165 (1,031)	2,482 (2,213)

		10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
予約件数(件)		135 (△8)	136 (-)	151 (25)	138 (20)	158 (26)	152 (5)	1,688 (67)
実施件数	高齢者	60 (△15)	69 (△1)	85 (18)	71 (19)	78 (9)	73 (△5)	836 (116)
	高齢＋障害者	30 (△6)	25 (2)	25 (1)	26 (1)	28 (-)	35 (10)	343 (56)
	障害者	12 (△5)	16 (2)	10 (-)	11 (△4)	17 (2)	12 (△10)	146 (△55)
	その他	7 (2)	6 (-)	7 (△2)	8 (△2)	9 (2)	8 (4)	76 (△8)
	計(件)	109 (△24)	116 (3)	127 (17)	116 (14)	132 (13)	128 (△1)	1,401 (109)
V参加数(人)		80 (△20)	83 (△11)	84 (△6)	94 (12)	92 (-)	96 (△4)	1,053 (21)
利用目的	通院など	87 (△12)	80 (△7)	92 (8)	89 (11)	95 (12)	98 (11)	1,050 (104)
	施設送迎	5 (△11)	12 (1)	11 (2)	13 (1)	13 (△7)	13 (△6)	132 (△42)
	行事参加	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	行楽	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (△2)
	その他	17 (△1)	24 (9)	24 (7)	14 (2)	24 (8)	17 (△6)	219 (49)
	計(件)	109 (△24)	116 (3)	127 (17)	116 (14)	132 (13)	128 (△1)	1,401 (109)
稼働日数(日)		30 (-)	30 (3)	28 (2)	28 (3)	29 (1)	29 (△1)	343 (48)
走行距離(km)		2,080 (△644)	2,533 (422)	2,171 (△44)	2,334 (306)	2,563 (318)	2,560 (△145)	28,276 (1,716)

② 移送ボランティアグループの育成・支援

〔1〕移送ボランティア連絡会…1 回

〔2〕登録ボランティア数 28 人（1）〈運転 13 人(△1)、介助 14 人(2)、事務 1 人(-)〉

③ 利用登録者数

区分	高齢者	高齢＋障害者	障害者	その他	計
登録者数	612（△64）	226（△54）	62（△3）	38（△11）	938（△132）

*令和５年７月利用登録更新実施

④ 移送ボランティアグループ研修交流会

事例研究・特殊車イス固定演習等

⑤ 感染防止対策※新型コロナウイルス感染症の５類感染症移行前まで

- 送迎車両の運転・助手席と利用者席との間に飛沫除けを設置
- 換気と車両の消毒
- 利用前の体調の聞き取り・検温・手指消毒
- 相乗りの中止（家族のみ可）

(2) 高齢者外出援助サービス＜市からの受託事業＞

公共交通機関を使用して外出することが困難な高齢者を対象に、市内６地区の運営委員会によるボランティアが、スロープ式軽車両による外出援助サービスを行いました。

①実施件数

月		４月	５月	６月	７月	８月	９月
予約件数(件)		324(113)	296(55)	362(64)	342(50)	318(146)	339(284)
実施件数	高齢者	288(93)	269(54)	319(53)	297(32)	270(239)	306(297)
	その他	3 (-)	3 (3)	2 (2)	13(13)	- (-)	- (-)
	計(件)	291(96)	272(57)	321(55)	310(45)	270(239)	306(297)
Ｖ参加数(人)		383(90)	375(74)	397(△4)	399(26)	473(410)	399(372)
利用目的	通院など	236(70)	222(40)	262(39)	246(24)	224(197)	247(241)
	施設送迎	- (-)	- (△1)	2 (2)	- (-)	9 (7)	3 (2)
	行事参加	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	行楽	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	その他	55(26)	50(18)	57(14)	64(21)	37 (35)	56 (54)
	計(件)	291(96)	272(57)	321(55)	310(45)	270(239)	306(297)
稼働日数(日)		126(29)	123 (20)	132(6)	130(40)	108(93)	130(126)
走行距離(km)		4,113 (1,185)	4,004 (675)	4,374 (246)	4,437 (424)	3,964 (3,572)	4,271 (4,155)

月		10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
予約件数(件)		328(88)	325(42)	317(33)	269(29)	311(11)	330(△7)	3,861(908)
実施件数	高齢者	294(66)	291(43)	292(44)	239(26)	267(△6)	291(△17)	3,423(924)
	その他	- (-)	- (△18)	- (△11)	- (-)	- (-)	- (-)	21(△8)
	計(件)	294(66)	291(25)	292(33)	239(26)	267(△6)	291(△17)	3,444(916)
Ｖ参加数(人)		385(76)	410(37)	365(7)	333(16)	356(△9)	378(△2)	4,653(1,093)
利用目的	通院など	241(52)	238(20)	227(14)	195(15)	213(7)	228(△11)	2,779(708)
	施設送迎	6(3)	4 (△5)	10(△1)	7(△3)	7(6)	11(11)	59(21)
	行事参加	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	行楽	- (-)	- (-)	13(13)	- (-)	- (-)	- (-)	13(13)
	その他	47(11)	49(10)	42(7)	37(14)	47(△19)	52(△17)	593(174)
	計(件)	294(66)	291(25)	292(33)	239(26)	267(△6)	291(△17)	3,444(916)
稼働日数(日)		122(12)	125(4)	122(1)	105(1)	119(△3)	126(△17)	1,468(282)
走行距離(km)		5,043 (1,833)	4,217 (276)	4,335 (493)	3,527 (699)	3,845 (△73)	4,213 (△270)	50,343 (13,215)

②各種会議の開催

〔1〕6地区運営委員長会議の開催（開催回数：3回）

8月3日（木）　16人

〔1〕ボランティアへの謝礼について

〔2〕各地区の活動状況報告

〔3〕運転協力者認定講習会の報告及び次回以降の開催

〔4〕運転協力者現任研修会の開催

〔5〕実務に関する確認

・令和4年度実績報告

・夏季の調整、運行について

11月2日（木）　15人

〔1〕令和5年度中間実績報告

〔2〕運転協力者認定講習会の報告及び次回以降の開催

〔3〕レインボーとの情報交換会

〔4〕ボランティアの謝礼について

〔5〕各地区の活動状況報告

〔6〕実務に関する確認

・年末年始予約調整及び活動予定について

・カレンダーの配布

・ボランティア（運転・介助・事務）月別活動回数について

〔7〕運転協力者現任研修会の開催

3月21日（木）　14人

〔1〕運転協力者認定講習会の報告及び次回以降の開催

〔2〕謝礼、ボランティア募集のPR

〔3〕実務に関する確認

・令和5年度の利用料の収支報告書の提出

・ゴールデンウイークの調整日と活動について

・令和6年度ボランティア保険について

〔4〕各地区の活動状況報告

〔2〕各地区運営委員会の開催（開催回数：17回）

東地区･･･1回、東北地区･･･3回、西北地区･･･1回

西南地区･･･11回、西地区･･･1回、南地区･･･なし

③利用登録者並びに登録ボランティア

		西北	南	東北	西	東	西南	計（人）
利用登録者数		217 (44)	277 (59)	266 (83)	274 (59)	172 (56)	250 (62)	1,456 (363)
V数	運転	10(△2)	9(-)	13(△3)	8(△6)	8(△3)	10(-)	58(△14)
	介助	-(-)	4(2)	8(1)	11(2)	-(-)	9(-)	32(6)
	事務	6(△1)	5(△1)	21(-)	8(1)	15(3)	12(△2)	67(-)

（ボランティア数重複あり）

④感染防止対策　※新型コロナウイルス感染症の５類感染症移行前まで

・送迎車両の運転・助手席と利用者席との間に飛沫防止除けを設置

・換気と車両の消毒

・利用前の体調の聞き取り・検温・手指消毒

(3) 国土交通大臣認定運転協力者講習会の開催（開催回数：3 回）

運転ボランティアの安定的な確保を図ることを目的に、国土交通省が定める認定講習会を開催しました。

開催日	有料受講者	西北	南	東北	西	東	西南	移送	その他	計(人)
第1回 6月2日・8日	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1(△1)
第2回 9月28日・10月6日	-	-	-	-	1	-	1	-	-	2(△4)
第3回 2月5日・9日	-	-	2	1	-	-	1	1	-	5(2)

(4) 運転者協力者現任研修会の開催（開催回数：1 回）

実施日　10 月 26 日（木）

会　場　保健福祉センター 多目的ホール

参加数　30 人（外出援助・移送）

内　容　安全運転講習

講　師　一般社団法人　日本自動車連盟（JAF）　講師

(5) 移送サービス・高齢者外出援助サービスボランティア交流会の開催

実施日　12 月 21 日（木）

会　場　池の里市民交流センター

参加数　10 人

１０．車イス貸出し事業

在宅で車イスが一時的に必要になった人を対象に車イスの貸出しを行いました。

保有台数 66 台（自走式 42 台、介助式 24 台）

(1) 月別貸出し状況

月	4	5	6	7	8	9	
件　数	37(16)	26(1)	19(△8)	18(△4)	19(△4)	34(10)	
月	10	11	12	1	2	3	計
件　数	30(4)	27(7)	29(3)	18(△1)	23(4)	21(△1)	301(27)

(2) 年齢別利用状況

年　齢	49 歳以下	50～64 歳	65～74 歳	75 歳以上	計
件　数	49(9)	46(16)	36(△19)	170(21)	301(27)

(3) 貸出し期間別利用状況

貸出期間	1 週間未満	1 か月未満	1～2 か月	3～4 か月	5～6 か月	計
件　数	65(△2)	78(4)	62(22)	64(13)	32(△10)	301(27)

(4) 利用目的別利用状況

利用目的	通院	散歩	日常	行事	その他	計
件　数	110(△6)	6(2)	101(17)	68(9)	16(5)	301(27)

１１．元気アップ介護予防ポイント事業　＜市からの受託事業＞

介護予防サポーターの養成のための登録研修を開催するとともに、サポーター・受入施設の双方から相談を受け、サポート活動の需給調整を図っています。

(1) サポーター登録者数等

① **登録者数**　（累計）297 人（21）　　＊うち令和５年度新規登録者数 25 人

② **実活動者数**　110 人　(42)

③ **活動内容別参加者数（重複有り）**

〔1〕縫製、洗濯物の整理など日常生活を補助する活動……	202 人
〔2〕囲碁、将棋、書道など趣味を活かした交流活動……	82 人
〔3〕傾聴、話し相手などの活動……	92 人
〔4〕紙芝居、朗読などの活動……	50 人
〔5〕ゲーム、歌、歌体操などのレクリエーション活動……	112 人
〔6〕お茶出し、食堂での配膳などの補助活動……	139 人
〔7〕園芸、草刈りなどの補助活動……	200 人
〔8〕施設行事の手伝いなどの活動……	1 人
〔9〕その他施設における軽微かつ補助的な活動……	9 人
計	887 人

(2) サポーター受入登録施設数

①	高齢者施設	108 施設（△3）	＜新規登録数：－＞
②	障害者施設	12 施設（-）	＜新規登録数：－＞
③	児童施設	21 施設（-）	＜新規登録数：－＞
④	その他の施設	1 施設（-）	＜新規登録数：－＞
	計	142 施設（△3）	＜新規登録数：－＞

(3) サポーター登録研修の開催（開催回数：5 回）

開催日　5 月 8 日(月)　8 人
　　7 月 10 日(月)　4 人
　　9 月 11 日(月)　6 人
　　11 月 13 日(月)　4 人
　　1 月 15 日(月)　3 人

会　場　保健福祉センター５階　会議室１・２(5 月 8 日.7 月 10 日.9 月 11 日.1 月 15 日)
　　保健福祉センター５階　多目的ホール（11 月 13 日）

参加数　25 人（△3）

内　容　介護予防サポーターとは
　　講師　京都光華女子大学　教授　石井　祐理子　氏

(4) 登録サポーター実力向上研修の開催（開催回数：１回）

登録者を対象としてサポーター活動のスキルアップを図ることを目的に開催しました。

開催日　８月 10 日（木）
会　場　保健福祉センター５階　会議室１・２
参加数　登録サポーター　26 人
内　容　・講義「健康長寿の鍵！！第２の脳！腸のはたらき」
～サポーター活動に活かせる体操など～
講　師　千成ヤクルト販売株式会社
マーケティング・コミュニケーション部　井上　英樹　氏

(5) 施設情報交換会の開催（開催回数：１回）

サポーターと受入施設が情報、意見等を交換し、サポーター活動の活性化を図ることを目的に開催しました。

開催日　10 月６日（金）
会　場　保健福祉センター５階　会議室１・２
参加数　登録サポーター　12 人
参加施設　７施設
内　容　・介護予防ポイント事業の現状報告と参加される受入施設から活動紹介
・登録サポーターと受入施設が個別にサポーター活動についての情報交換相談を行う。

(6) 登録サポーター交流会の開催（開催回数：１回）

サポーター同士の交流と親睦を深めることを目的に開催しました。

開催日　11 月 24 日（金）
会　場　保健福祉センター４階　セミナー室
参加数　登録サポーター　15 人
内　容　口腔ケア・嚥下体操とサポーター同士の交流会

(7) 需給調整

相　談	調　整	成　立	不成立
56（△22）	23(△8)	16(8)	5(△9)

(8) 介護予防ポイント転換交付金の交付

交付人数	66 人（-）
延べ活動日数	3,275 日（1,404）
ポイント転換金額	655,000 円（280,800）

１２．救急医療情報キット普及事業　＜市からの受託事業＞

ひとり暮らし高齢者に救急医療情報などを記載した用紙を収納する「命のカプセルあんしん」を配付しています。そして、毎年春に行うひとり暮らし高齢者調査に伴う訪問の際に、定期情報更新を行います。

【キット配付・情報更新件数】

キット配付数	754　個
情報更新件数	8,207　件

１３．福祉総合相談事業

市民からのさまざまな相談や地域の支援に応じ、福祉サービスや関係機関との連携、各種社会資源へのつなぎ等を行い、問題の解決・改善を図りました。

【個人を支える社協の取り組み】

個別支援	移送サービス事業実施件数		1,401	件
	外出援助サービス事業実施件数		3,442	件
	元気アップ介護予防ポイント事業		887	件
	各地区まちかど福祉相談活動件数		546	件
	車イス貸出件数		301	件
	個別ケース総合相談件数（実数）		117	件＊内訳別掲
	緊急時安否確認（かぎ預かり）事業契約件数		119	件
	生活困窮者自立支援事業相談件数		4,718	件
	生活福祉資金貸付事業相談件数		765	件
	日常生活自立支援事業		111	件
		個別支援件数	12,407	件（70）

【地域を支える取り組み】

地域支援	各校区福祉委員会など		474	件
	校区福祉委員長協議会		144	件
	各校区ボランティア部会		69	件
	校区ボランティア部会長会		144	件
	福祉教育実施		44	件
		地域支援件数	875	件（160）

(参考)地域支援頻度	**１月あたり**	72.9	回
	１月の地域担当ひとりあたり	12.1	回

個別支援および地域支援 合計件数 13,282 件（230）

事務支援	ボランティア保険事務	総合保険	205	件
		行事保険	858	件
		加入者数	2,557	人

※個別ケース総合相談　117 件の内訳概要

どこから	来所	39	電話、電子メールなど	70	出向いて	8

相談者は	本人	43	家族	16	福祉委員会	27
	関係機関	28	知人など	3		

この内容は（複数回答あり）	見守り活動	39	ボランティア活動	9	個別ケース調整	41	社協の他の取り組み	12
	介護・健康など	23	障害・健康など	28	乳幼児童・健康など	1	生活費など	40
	近隣のこと	23	法律に関すること	8	生き方について	24	その他	34

対応	終了	81	支援継続中	36

対応の内容は（複数回答あり）	福祉関係機関や福祉委員会と協議し、制度の活用や取り組みを検討した又は、図った	55
	情報提供を行い、対応手順を示した。又は、共に対処した	61
	傾聴を行った	57

支援形態は（複数回答あり）	支援機関は明らかだが、CSWが支援した（他機関との連携、共同支援）	38
	主たる支援機関が未確定のため、CSWが支援した（切れ目なく支援を継続するため）	66
	制度のはざまを補うため、CSWが支援した（支援者の増援を求めるため）	62

１４．赤い羽根共同募金事業

赤い羽根共同募金活動を市政協力委員自治推進協議会や民生委員児童委員協議会など関係機関の協力や地域貢献委員会の施設、公立保育所等に募金箱の設置協力を得ながら実施し、各種の地域福祉事業・活動の増進を図ります。

(1) 赤い羽根共同募金運動の実施

10月2日（月）に民生委員児童委員協議会の協力のもと街頭募金を実施し、運動についての周知および啓発活動を行いました。また、自治会の協力のもと戸別募金や事業所募金を実施し、市内の公立小中学校においては学校募金を実施しました。市役所や商業施設、社会福祉施設等には募金箱を設置することで全市的に募金活動を展開しました。

①募金実績額　（単位：円）

募金区分	5年度実績額	4年度実績額	前年度比
戸別募金	11,128,740	11,683,037	△554,297
事業所募金（※1）	469,616	481,241	△11,625
学校募金	151,081	99,127	51,954
職域募金	63,853	66,518	△2,665
街頭募金	94,992	69,142	25,850
バッジ募金	410,000	374,500	35,500
その他（※2）	112,387	120,710	△8,323
計	12,430,669	12,894,275	△463,606

※1 自治会を介さない企業からの募金を含む

※2 社会福祉施設等の募金箱など

②校区福祉委員会別募金額　（単位：円）

福祉委員会	戸別募金額	事業所募金額	計
池田	521,368	4,050	525,418
石津	137,237	-	137,237
宇谷	270,083	5,000	275,083
梅が丘	214,954	5,000	219,954
神田	465,765	20,000	485,765
北	683,783	-	683,783
木田	368,943	111,900	480,843
楠根	112,497	-	112,497
国松緑丘	357,416	-	357,416
啓明	431,144	600	431,744
木屋	502,390	25,200	527,590
桜	313,990	39,800	353,790
点野	479,518	60,410	539,928
成美	767,682	67,000	834,682

福祉委員会	戸別募金額	事業所募金額	計
田井	342,232	15,500	357,732
第五	1,896,264	35,000	1,931,264
中央	495,890	31,116	527,006
西	331,891	15,200	347,091
東	480,196	500	480,696
堀溝	684,331	3,500	687,831
三井	256,847	-	256,847
南	548,528	24,000	572,528
明和	132,000	-	132,000
和光	333,791	3,600	337,391
計	11,128,740	467,376	11,596,116

１５．歳末たすけあい運動事業

市政協力委員自治推進協議会など関係機関の協力や地域貢献委員会の施設、公立小中学校や保育所等に募金箱の設置協力を得ながら実施し、各種の地域福祉事業・活動の増進を図りました。また、12 月 1 日には市内各地で街頭募金を実施しました。

(1)募金実績額　　（単位：円）

募金区分	令和５年度実績額	令和４年度実績額	前年度比
戸別募金	10,399,289	10,885,342	△486,053
事業所募金	642,972	743,900	△100,928
街頭募金	135,811	131,212	4,599
その他	294,647	241,838	52,809
計	11,472,719	12,002,292	△529,573

※「その他」は一般個人や団体、募金箱

(2)校区福祉委員会別募金額　　（単位：円）

福祉委員会	戸別募金額	事業所募金額	計
池田	601,191	0	601,191
石津	132,306	0	132,306
宇谷	255,165	6,000	261,165
梅が丘	206,142	0	206,142
神田	456,774	0	456,774
北	695,829	26,800	722,629
木田	363,177	120,200	483,377
楠根	108,755	0	108,755
国松緑丘	344,969	0	344,969
啓明	448,075	63,422	511,497
木屋	508,307	22,000	530,307
桜	302,660	49,500	352,160
点野	467,533	27,350	494,883
成美	658,546	67,000	725,546
田井	315,037	20,500	335,537
第五	1,662,912	62,000	1,724,912
中央	465,780	28,500	494,280
西	317,632	76,000	393,632
東	436,605	0	436,605
堀溝	452,668	54,100	506,768
三井	269,218	0	269,218
南	480,623	16,000	496,623

福祉委員会	戸別募金額	事業所募金額	計
明和	113,700	0	113,700
和光	335,685	3,600	339,285
計	10,399,289	642,972	11,042,261

(3)配分実績

① 地域福祉活動に対する配分　10,652,259 円

② 災害ボランティアセンター備品整備　310,647 円

計　10,962,906 円

＊〔地域福祉活動に対する配分〕の詳細は次のとおり

【校区福祉委員会】　（単位：円）

校区福祉委員会名	計
池田校区福祉委員会	508,217
石津校区福祉委員会	251,507
宇谷校区福祉委員会	313,212
梅が丘校区福祉委員会	250,604
神田校区福祉委員会	388,591
北校区福祉委員会	623,887
木田校区福祉委員会	389,193
楠根校区福祉委員会	198,574
国松緑丘校区福祉委員会	359,351
啓明校区福祉委員会	377,024
木屋校区福祉委員会	441,868
桜校区福祉委員会	380,421
点野校区福祉委員会	409,274
成美校区福祉委員会	374,401
田井校区福祉委員会	396,331
第五校区福祉委員会	857,721
中央校区福祉委員会	508,991
西校区福祉委員会	310,718
東校区福祉委員会	503,831
堀溝校区福祉委員会	290,293
三井校区福祉委員会	367,435
南校区福祉委員会	417,143
明和校区福祉委員会	327,402
和光校区福祉委員会	475,580
計	9,721,569

【当事者や家族の福祉団体】　（単位：円）

団　体　名	計
寝屋川市身体障害者福祉会	51,040
寝屋川市障害児者を守る親の会	34,560
寝屋川市障朋会	27,680
寝屋川市精神障害者家族会みつわ会	23,040
寝屋川市母子寡婦福祉会	55,520
寝屋川市原爆被害者の会	34,720
全国膠原病友の会大阪支部寝屋川会	24,320
寝屋川市難病連絡会	22,560
計	273,440

【ボランティアセンター登録団体】　（単位：円）

団　体　名	計
アスパラの会	15,600
うきうきわくわく音心の会	3,250
MOA 健康生活ねやがわネットワーク	14,950
おっとこまえの会	1,950
活動ネットワーク北河内傾聴ボランティア「14 の耳」	12,350
擬似体験ボランティアグループ　うらしまさん	26,500
車椅子ダンス「さくら草」	7,800
くりっくねっと☆	21,300
京阪ナツメロ愛好会	17,550
天満天神の会	25,350
手話サークル　ひびき	5,200
点訳ボランティア　つくしの会	27,800
日曜大工ボランティア　とんかちクラブ	7,150
寝屋川さくらねこの会	19,500
寝屋川市民たすけあいの会	39,650
寝屋川市身体障害者福祉会　視覚部	25,200
ブリッジこだま	7,800
ボランティア・みい	17,550
要約筆記サークル　バンビ	3,900
園芸福祉ボランティア　らぶ	28,450
チーム・ウェルビーイング（WB）	3,900
北校区子育てサロンパッチワーク	4,550
計	337,250

【寝屋川市介護者の会】　（単位：円）

団　体　名	計
寝屋川市介護者の会	250,000

【こども食堂実施団体】　（単位：円）

団　体　名	計
NPO 法人芽ばえ　子ども食堂ひまわり	一律 5,000 円分 クオカード
かやしまこども食堂	
みんなでつくる学校とれぶりんか	
ふれ愛子ども食堂	
子ども食堂　たけのこ	
A 岩崎家子ども食堂	
しめの子ども食堂	
みんなの緑町子ども食堂	
特定非営利活動法人そうあい さんらふれあい子ども食堂	
GOFARBANK	
サークル息吹　息吹子ども食堂	
和光校区福祉委員会子ども食堂	
なるみちゃん食堂	
宇谷食堂	
計	70,000

１６．広報事業

市民に福祉サービスや福祉の情報を伝えることで、地域福祉に関心を持ち、理解が得られるよう工夫しさまざまな方法で情報発信を行いました。

(1) 機関紙の発行

① 機関紙「虹」の発行（発行：4回）

号/発行日 （部数）	主な内容
163号 5月1日 (116,000)	・ 令和5年度 事業計画と予算 ・ 運転ボランティア活動で有意義な時間を過ごしませんか～ボランティア活動のある1日のご紹介～ ・ 校区福祉委員会活動紹介～西小学校区～ ・ 「園芸福祉ボランティア らぶ」活動紹介 ・ 就労準備支援事業の案内 ・ 善意銀行だより ・ 社協からのお知らせ ・ 地域のヒト！ 中谷 隆子(なかたに たかこ)さん (第五校区福祉委員会 委員長)
164号 8月1日 (116,000)	・ 「日ごろ」のつながりが、「万が一」への最善の対策 ・ 送迎ボランティアを募集しています ・ ボランティアセンターのいろはの「い」 ・ 令和4年度 事業報告と決算/新役員体制 ・ 就労支援と家計改善について/善意銀行だより ・ 社協からのお知らせ ・ 地域のヒト!大西 正禮（おおにし まさのり）さん （和光校区福祉委員会 委員長）
165号 11月1日 (116,000)	・ 歳末たすけあい運動が始まります ・ あなたはまわりの人に思いやりをもてていますか？ ・ 校区福祉委員会活動紹介～北小学校区～ ・ ＮＰＯ法人　寝屋川あいの会の取り組み ・ ボラスポ～介助犬お散歩たすけ隊～ ・ 大阪シティ信用金庫の取り組み/善意銀行だより ・ 社協からのお知らせ ・ あつまれ！ひろがれ！親子の輪～子育てサロン～

号/発行日 （部数）	主な内容
166 号 2 月 1 日 (116,000)	・ 社会貢献の輪をつなげよう！ ・ 住民賛助会員募集のご案内 ・ 校区福祉委員会活動紹介～国松縁丘小学校区～ ・ 登録ボランティアグループ紹介冊子発行 ・ 八中包括だより ・ 教育支援資金のご案内 ・ 善意銀行だより ・ 社協からのお知らせ ・ 社協ＮＥＷＳ

② 広報編集委員会の開催　（開催回数：7 回）

本会機関紙「虹」発行のために広報編集委員会を開催しました。（主な案件：紙面内容の検討）

開催日及び参加数　5 月 23 日（火）8 名、6 月 23 日（金）5 名、8 月 18 日（金）7 名、
9 月 29 日（金）6 名、11 月 21 日（火）6 名、12 月 25 日（月）4 名
3 月 21 日（木）4 名

(2) 福祉広報研修会の実施

広報紙を作成するうえでの基本的な考え方や技術について学ぶとともに、見出し作成方法と文章校正を学ぶことで、広報の充実及び強化を図ることを目的に開催しました。

開催日　3 月 8 日（金）13 時 30 分～15 時 30 分
会　場　保健福祉センター５階　研修室５
参加数　32 人
内　容　「見出しと文章の上手な使い方講座」～気が付けば文字ばかりの広報紙になっていた～
講　師　瀧上　和世氏（読売新聞大阪本社「新聞のちから」委員会）

(3) ホームページの運営

ボランティアグループくりっくねっと☆の定例会時に更新、その他必要に応じて随時更新しました。

寝屋川市社会福祉協議会 ホームページ　http://www.neyagawa-shakyo.or.jp

(4) SNS ページの運営

Instagram、Facebook、X（旧 Twitter）の公式ページを活用し、地域福祉活動や社会福祉協議会の取り組みなどの情報を随時発信しました。

Instagram　https://www.instagram.com/neyagawashishakyo/
フォロワー数：1112
Facebook　https://fb.me/NeyagawashiShakyo
フォロワー数：602
X（旧 Twitter）https://twitter.com/NeyagawaShakyo
フォロワー数：192

１７．調査・研究事業

(1) ひとり暮らし高齢者調査の実施

本会・校区福祉委員会と民生委員児童委員協議会が共催で、65 歳以上のひとり暮らし高齢者数の調査を行いました。

[4 月 1 日現在]

校区	65～74 歳		75 歳以上		計		ひとり暮らし高齢者総数	ひとり暮らし高齢者数の内訳		
	男	女	男	女	男	女		入院者	未記入者	記入者数
池田	46	47	77	244	123	291	414(15)	8	27	379
石津	5	18	28	82	33	100	133(2)	2	4	127
宇谷	20	58	26	133	46	191	237(16)	2	28	207
梅が丘	17	47	40	164	57	211	268(△11)	7	1	260
神田	14	39	45	168	59	207	266(△4)	4	24	238
北	29	55	78	258	107	313	420(4)	9	18	393
木田	31	66	65	219	96	285	381(△13)	5	28	348
楠根	15	24	16	81	31	105	136(△6)	1	12	123
国松緑丘	8	25	32	177	40	202	242(△7)	4	－	238
啓明	52	62	64	217	116	279	395(△11)	15	51	329
木屋	31	47	43	191	74	238	312(15)	1	22	289
桜	39	60	72	220	111	280	391(△10)	2	19	370
点野	59	97	85	234	144	331	475(△13)	7	46	422
成美	24	35	67	283	91	318	409(4)	11	13	385
田井	24	58	65	196	89	254	343(13)	4	28	311
第五	43	114	74	350	117	464	581(29)	9	91	481
中央	34	50	56	215	90	265	355(△11)	4	27	324
西	24	52	35	171	59	223	282(△1)	6	18	258
東	18	31	42	156	60	187	247(△5)	9	19	219
堀溝	22	30	37	108	59	138	197(5)	5	7	185
三井	36	86	141	407	177	493	670(△16)	24	33	613
南	59	65	99	283	158	348	506(23)	6	9	491
明和	5	9	23	116	28	125	153(2)	11	1	141
和光	35	50	78	231	113	281	394(6)	8	5	381
計(人)	690	1, 225	1, 388	4, 904	2, 078	6, 129	8, 207 (26)	164 (20)	531 (35)	7, 512 (△29)

(2) 緊急時安否確認に関する状況把握の実施

地域における孤立死の状況や異変の発見時や緊急対応時の問題点を明らかにするために状況調査を行いました。

① 校区別孤立死等の発見状況

校区	生前に発見	死後に発見	計
池田	-(-)	-(-)	-(-)
石津	-(-)	-(-)	-(-)
宇谷	-(-)	-(△1)	-(△1)
梅が丘	-(-)	-(△1)	-(△1)
神田	-(△2)	3(1)	3(△1)
北	-(-)	4(3)	4(3)
木田	-(-)	-(△3)	-(△3)
楠根	-(△1)	-(△1)	-(△2)
国松緑丘	-(-)	-(△2)	-(△2)
啓明	1(△1)	1(△2)	2(△3)
木屋	-(-)	2(1)	2(1)
桜	-(-)	-(△1)	-(△1)
点野	-(-)	3(△1)	3(△1)
成美	-(-)	1(-)	1(-)
田井	-(-)	-(△1)	-(△1)
第五	-(-)	1(-)	1(-)
中央	-(-)	2(-)	2(-)
西	-(△1)	1(△1)	1(△2)
東	-(△1)	1(-)	1(△1)
堀溝	-(-)	-(-)	-(-)
三井	1(1)	-(-)	1(1)
南	-(△1)	2(1)	2(-)
明和	-(-)	-(-)	-(-)
和光	-(-)	-(△1)	-(△1)
計(人)	2 (△6)	21(△9)	23(△15)

② 対象者の年齢

年齢	生前に発見	死後に発見	計
50 歳未満	-(-)	-(-)	-(-)
50 歳以上～65 歳未満	-(-)	1(△3)	1(△3)
65 歳以上～75 歳未満	-(△2)	3(△4)	3(△6)
75 歳以上	2(△4)	17(△2)	19(△6)
不詳	-(-)	-(-)	-(-)
計	2(△6)	21(△9)	23(△15)

③ 発見者

発見者	生前に発見	死後に発見	計
家族・親族	-(-)	6(3)	6(3)
近隣住民	-(△2)	6(△10)	6(△12)
友人・知人	-(-)	4(1)	4(1)
福祉委員（民生委員含む）	-(△2)	-(△3)	-(△5)
自治会役員	-(-)	-(-)	-(-)
新聞・宅配業者	-(△3)	-(△1)	-(△4)
福祉サービス関係者	2(1)	3(-)	5(1)
その他	-(-)	2(1)	2(1)
計	2(△6)	21(△9)	23(△15)

④ 発見までの日数（死後発見のみ）

発見までの日数	件数
死亡当日～死後１日	6(1)
死後２日～３日	5(△1)
死後４日～７日	5(1)
死後８日以上	1(△4)
死後不詳	4(△6)
計	21(△9)

⑤ かぎ預かり利用契約の有無

かぎ預かり事業契約有無	生存	死亡	計
有り	1(1)	-(△2)	1(△1)
無し	1(△7)	21(△7)	22(△14)
計	2(△6)	21(△9)	23(△15)

(3) 『報告書～孤独・孤立を防ぐ地域づくりへ～』の作成

孤立死を防ぐための地域づくりにおける課題を明らかにし、今後の地域福祉活動や緊急時安否確認（かぎ預かり）事業に活かすことを目的として調査・分析を行い、報告書（1,800 部）を作成しました。

18. 地域包括支援センター事業＜市からの受託事業＞

第三中学校区、第八中学校区の地域包括支援センターの運営を行っています。高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりのため、市や介護、福祉、医療など地域の関係機関や団体等との連携協力の下、健康、生活、財産、権利などを守りながら生活を支えるための仕組みづくりを行っています。

(1) 総合相談・支援

高齢者に関する相談に対応するとともに、必要な支援を行い問題の解決・改善に努めました。

（相談経路）

	電話	来所	その他	計
三中包括	543(118)	189(51)	25(8)	757(177)
八中包括	322(31)	120(14)	4(△36)	446(9)

（相談者の内訳）

【三中包括】

内　訳	件　数	内　訳	件　数	内　訳	件　数
本人	188(70)	ｹｱﾏﾈｼﾞｬｰ	81(19)	市役所	22(△6)
家族	308(60)	ｻｰﾋﾞｽ事業所	10(2)	その他	15(6)
知人・近隣	20(△2)	医療機関	52(12)		
福祉委員等	48(17)	警察	1(△1)		
他包括	9(6)	関係機関	3(△6)	計	757(177)

【八中包括】

内　訳	件　数	内　訳	件　数	内　訳	件　数
本人	84(△21)	ｹｱﾏﾈｼﾞｬｰ	57(5)	市役所	35(13)
家族	180(27)	ｻｰﾋﾞｽ事業所	4(△5)	その他	8(-)
知人・近隣	12(△1)	医療機関	34(4)		
福祉委員等	24(△9)	警察	-(-)		
他包括	2(△1)	関係機関	6(△3)	計	446(9)

（相談件数及び内容）

内容	介護（介護保険含む）	介護予防・生活支援サービス	医　療	認知症	権利擁護	介護者の離職防止	その他（生活上の相談）	計
三中包括	441(66)	82(32)	23(9)	42(9)	9(△1)	ー(△1)	160(63)	757(177)
八中包括	251(△18)	50(16)	8(△2)	21(△1)	15(△23)	ー(-)	101(37)	446(9)

(2) 権利擁護、高齢者虐待の防止・早期発見のための取り組み

継続的に高齢者虐待、権利擁護に対して関係機関と連携し様々な制度、サービスの調整等を行いました。(新規対応分)

	計
三中包括	9(△4)
八中包括	15(6)

(3) 包括的・継続的ケアマネジメントの支援

ケアマネジャーや介護保険事業所へ支援困難なケースに対し助言、支援を行いました。

	計
三中包括	73(18)
八中包括	40(11)

(4) 地域ケア会議の開催

医療、介護、予防、住まい及び生活支援サービスなど専門多職種の協働のもと、公的サービスのみならず他の社会資源も積極的に活用することができる連携の場として日常生活圏域及び包括圏域内で開催しました。また、介護予防支援として自立支援を促す為、「自立支援型地域ケア会議」が位置付けられています。

① 自立支援型地域ケア会議の開催

「自立支援型地域ケア会議」は、効果的な自立支援を進めるために、通所型サービス（短期集中）の利用者で開始から3か月を目安に状態を把握し、自立支援につながるようにケアマネジメント内容の検討を行う会議です。

	開催回数	件数
三中包括	8(△11)	13(△6)
八中包括	6(△7)	7(△9)

② 個別課題解決型地域ケア会議の開催

主に高齢者の課題解決に向け、関係する専門多職種と支援方針や対応方策、役割分担について検討する会議です。

	開催回数
三中包括	12(△3)
八中包括	8(△4)

③ ネットワーク型地域ケア会議の開催

主に担当圏域の各機関、団体とのネットワーク構築を目的とした会議です。

	開催回数
三中包括	11(7)
八中包括	9(3)

④ 圏域地域ケア会議の開催

課題解決型地域ケア会議、ネットワーク型地域ケア会議からでてきた地域の課題を地域、資源づくりや政策形成につなぐことを目的とした会議です。

【三中包括（西北圏域）】＜1回(-)＞

月日	参加機関等	主な内容
3月14日	三師会・居宅介護支援事業所、通所介護、訪問介護事業所連絡会、民協、市老連、介護者の会、社協CSW	地域の高齢者の困りごとについて、参加機関が課題と思われることを出し合い意見交換を行う。

【八中包括（西圏域）】＜1回(-)＞

月日	参加機関等	主な内容
2月21日	三師会・居宅介護支援事業所、通所介護、訪問介護事業所連絡会、民協、市老連、介護者の会、社協CSW	「災害」をテーマに、発災直後から3日間に各参加機関が行うことを共有し、課題解決、連携を図るための意見交換を行う。

⑤ 地域との連携に向けた会議・研修会・広報啓発活動

【三中包括】 計31回（14）

＜市域＞
- 寝屋川市民生委員児童委員協議会高齢者福祉部会研修会（講師）・・1回
- 認知症サポーター養成講座（キャラバンメイト：講師）・・・・・・1回
- 介護者の会認知症交流会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1回

＜西北圏域＞
- 地域包括・CSW・地域支え合い連携会議・・・・・・・・・・・・・・・4回
- 西北コミセンまつり・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1回

＜三中圏域＞
- ええやん三中圏域井戸端会議・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8回
- 圏域内マンション（10か所）への広報活動・・・・・・・・・・・・・3回

＜田井校区＞
- 敬老のつどい・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1回
- 田井校区福祉委員会小地域ネットワーク推進委員会・・・・・・・・4回
- 毅峰会デイサービス運営推進会議・・・・・・・・・・・・・・・・・2回

＜北校区＞
- 北校区福祉委員会役員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1回
- 蔦の会（寿町一人暮らし老人会）元気アップ体操の打ち合わせ・・・・1回
- ビーナスクラブ香里園運営推進会・・・・・・・・・・・・・・・・・2回
- リハプライドＨＧ寝屋川運営推進会議・・・・・・・・・・・・・・・1回

【八中包括】　計 29 回（△12）

＜市域＞　・認知症サポーター養成講座（キャラバンメイト：講師）・・・・・・ 1 回
　　・介護者の会認知症交流会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 回
＜西圏域＞　・おとしより１１０番プロジェクトワーキングチーム会議 ・・・・・ 2 回
　　・地域包括・CSW 連携会議 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12 回
　　・西コミセンまつり・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1 回
＜八中圏域＞　・通いの場リーダー会 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8 回
＜点野校区＞　・ワンプラスデイサービス運営推進会議・・・・・・・・・・・・・・・2 回
＜西校区＞　・寝屋川ケアセンターそよ風運営推進会議・・・・・・・・・・・・・・2 回

(5) 介護予防の取り組みの実施

地域包括支援センター主催による介護予防の取り組みの開催から地域主体による介護予防の取り組みへの働きかけや支援の他に、地域が主催する各種活動へ出向き、健康相談等を行っています。

① 介護予防のとりくみ（通いの場）実施状況

	主催	運営支援	地域活動参加
三中包括	-(-)	39(39)	24(-)
八中包括	6(△19)	80(57)	3(2)

② 地域支え合い推進事業等と連携した通いの場づくりの企画検討及び支援

高齢者が住み慣れた地域で暮らしていけるよう、また主体的に活動に関わり、地域に貢献していける通いの場をつくるための企画会議を、地域支え合い推進員や CSW と連携して行い、場が立ち上がったのちも必要に応じ支援しています。

【三中包括】

① ええやん三中圏域井戸端会議の開催　＜開催回数：8 回＞
② ウォーキングプロジェクトの実施　※雨天のため中止

【八中包括】

① 淀川有志の会への活動支援（ラジオ体操勉強会の開催等）　＜開催回数：4 回＞
② 畑を活用した介護予防のとりくみの企画検討　＜開催回数：4 回＞
③ 府営点野団地住宅地区での介護予防のとりくみの立ち上げ検討＜開催回数：2 回＞
④ お絵描きによる介護予防のとりくみの企画検討及び立ち上げ支援
　＜開催回数：6 回＞
⑤ 通いの場リーダー会への活動支援　＜開催回数：8 回＞

③ 介護予防教室の開催

介護サービスが必要な状態になる前の人たちを対象に、要介護状態に陥らないように啓発することを目的に介護予防講座をひらいています。

【八中包括】　＜開催回数：3 回（1）＞

開催日　11 月 30 日（木）
会　場　第八中学校区地域包括支援センター会議室
参加数　12 人
内　容　講義「がんについて知り、早期発見をめざして」
講　師　寝屋川市健康部健康づくり推進室

開催日　1 月 31 日（水）
会　場　第八中学校区地域包括支援センター会議室
参加数　12 人
内　容　講義「お口の健康と認知症」
講　師　一般社団法人寝屋川市歯科医師会

開催日　2 月 27 日（火）
会　場　第八中学校区地域包括支援センター会議室
参加数　12 人
内　容　講義「長寿のための歩き方」及び歩行状態の測定
講　師　福祉用具貸与事業所　株式会社ヤマシタ

(6) 住民福祉講座の開催

高齢者の生活、福祉、介護の問題への理解を深め、地域包括支援センターの周知を目的に住民福祉講座を開催しています。

【三中包括】　＜開催回数：3 回（-）＞

開催日　7 月 21 日（金）
会　場　緑町公民館
参加数　10 人
内　容　スマートフォンの使い方講義
講　師　ドコモショップ香里園店

開催日　11 月 22 日（水）
会　場　田井西公民館
参加数　15 人
内　容　老人ホームをはじめ高齢者の施設とはどんなところか等講義
講　師　高齢者住まいの相談センター

開催日　2 月 28 日（水）
会　場　西北コミュニティセンター
参加数　20 人
内　容　老人ホームをはじめ高齢者の施設とはどんなところか等講義
講　師　高齢者住まいの相談センター

【八中包括】　＜開催回数：1回（△3）＞

開催日　10月27日（金）

会　場　第八中学校区地域包括支援センター会議室

参加数　13人

内　容　住まいとしての高齢者の施設とはどんなところか等講義及び参加者同士の意見交流

講　師　高齢者住まいの相談センター

(7) 広報・啓発活動

① ニュースレターの発行

包括支援センターの取り組みを関係機関・団体等に対して情報発信を行いました。

包括名	発行月	発行部数	主な内容
三中包括	8	200	田井校区スマホ講座を開催しました　等
	12		田井校区福祉委員会「敬老のつどい」２年ぶりの開催　等
	3		ネットワーク型地域ケア会議の開催　等
八中包括	7	200	総合事業運用変更などを学ぶ　等
	12		「高齢者の住まい選びについて」住民福祉講座をひらきました等
	3		介護予防講座「これからも健康であり続けるために」を開催しました　等

(8) 各地域包括支援センター独自の取り組み

【三中包括】

① シルバー110（イチイチゼロ）の取り組み　　協力　50事業所

第三中学校区及び友呂岐中学校区地域包括支援センターと圏域内の介護保険サービス事業所等が連携し、身近な所で気軽に相談できる窓口のネットワークづくりをしました。協力の申し出があった事業所に「シルバー110(イチイチゼロ)」の標示を掲示していただき、高齢者等からの相談への対応と併せて、地域包括支援センターに連絡を入れてもらう、早期発見・早期支援に繋げる取り組みです。

【八中包括】

① 菜園プロジェクトの実施　　（実施回数　6回　延べ参加者　20人）

点野小学校前にある畑を菜園コーナーとして活用して、介護予防、閉じこもり予防、居場所作りの一環として季節の作物の植え付け、収穫を行いました。

＊主な活動は、水やり、草抜き、作物の収穫

＊収穫した作物：じゃがいも、玉ねぎ

② おとしより110番プロジェクトの展開

「高齢者が身近にＳＯＳを発信(受信)しやすい地域づくり」を目的に西圏域で取り組むプロジェクトで、今年度はポスターの掲示状況等プロジェクトの現状把握及び課題確認を行い、その上で令和３年度に圏域地域ケア会議の委員である４団体で立ち上げたワーキングチームの委員に再度集まってもらい、コロナ前と後での変化や課題を共有し、プロジェクトとしてのとりくみを検討しました。

(9) 地域包括支援センターの地域の拠点としての運用状況

高齢者の総合相談窓口としての地域包括支援センターの機能をより高めるため、地域の拠点として活用しています。

事務所を活用した取り組みは、新型コロナウィルス感染予防に努めながら行っています。

① 事務所を活用した取組み

包括名	開放・利用状況
三中包括	西北まちかど福祉相談所（週１回）　（通年開催 45 回（6）） 西北高齢者外出援助サービス・予約受付会場（通年開催 39 回（△2))
八中包括	元気アップ体操教室　（通年開催 18 回（△3)） 手芸サロン　（通年開催 26 回（3))

② 社会福祉協議会業務に関する対応状況

内容	三中包括	八中包括
ひとり暮らし高齢者台帳の配付等	58(32)	-(△25)
命のカプセルの配付等	50(27)	10(△19)
移送サービス・外出援助サービス申請書配付等	6(△9)	9(6)
ボランティア保険・行事保険申込書配付等	2(2)	-(-)

(10) 介護予防ケアマネジメントの実施

介護予防を目的として、心身の状況や環境その他の状況に応じて、本人の選択に基づき適切なサービス事業が包括的かつ効率的に提供されるようケアマネジメント（ケアプランの作成）を行っています。

① 介護予防プランの作成

	三中包括			八中包括		
月	直作成件数	他事業所へ委託件数(原案委託)	計	直作成件数	他事業所へ委託件数(原案委託)	計
4	45(△11)	182(△3)	227(△14)	35(△14)	151(△19)	186(△33)
5	42(△16)	186(6)	228(△10)	33(△15)	149(△15)	182(△30)
6	39(△19)	180(△2)	219(△21)	37(△9)	145(△22)	182(△31)
7	46(△13)	187(6)	233(△7)	29(△15)	150(△8)	179(△23)

	三中包括			八中包括		
8	53(△4)	191(11)	244(△7)	32(△7)	154(△12)	186(△19)
9	50(△5)	192(6)	242(1)	32(△8)	145(△21)	177(△29)
10	52(△6)	177(△4)	229(△10)	42(△2)	152(△9)	194(△11)
11	57(△3)	188(△4)	245(△7)	38(△7)	152(△5)	190(△12)
12	55(△5)	191(6)	246(1)	36(△5)	145(△16)	181(△21)
1	56(6)	185(△8)	241(△2)	42(△7)	148(△3)	190(△10)
2	58(13)	192(3)	250(16)	50(6)	143(6)	193(12)
3	57(8)	198(14)	255(22)	42(-)	147(△24)	189(△24)
計	610(△55)	2,249(31)	2,859(△24)	448(△83)	1,781(△148)	2,229(△231)

② 初回訪問及びケアプランの確認

要支援認定を受け、介護予防サービスを必要とする方に対し制度の説明を行い、生活状況、サービス利用の有無等を把握するために初回訪問を行っています。その後、介護予防サービスを利用するに至った人のケアプランを確認しています。

	初回訪問	ケアプラン確認
三中包括	88(△2)	70(6)
八中包括	71(△13)	79(25)

③ セルフマネジメント支援の実施

介護保険サービスを終了するに当たり、不安なく、自立生活を継続することができるよう、専門職によるセルフマネジメント支援(ケアマネジャーによる関わりの継続)を一定期間行います。

	人　数
三中包括	-(-)
八中包括	4(4)

③　有償活動員による介護保険サービスの取扱状況

有償活動員による介護保険サービスのみを利用する場合のケアプランの取扱人数です。

	人　数
三中包括	-(-)
八中包括	-(-)

19. 生活困窮者自立支援事業 ＜市からの受託事業＞

生活困窮者自立支援法に基づき、自立相談支援事業、住居確保給付金、就労準備支援事業を実施。経済的困窮のみならず、ひきこもりや様々な事情で生活に困っている世帯に支援を行っています。

(1) 自立相談支援事業

支援プランを作成し計画的な支援を行っています。

① 問合せ・相談件数(頻数票から相談者属性)

相談件数	4,718(△121)
相談者数	740(22)

② 相談方法

相談経路	件数
電話	2,912(20)
来所	1,662(△186)
アウトリーチ等	144(45)
計	4,718(△121)

③相談者

相談者	件数
本人	3,880(△546)
家族・知人	407(186)
関係機関	291(192)
福祉委員・民生委員	29(8)
その他	111(39)
計	4,718(△121)

④ 相談内容（重複有）

相談内容	件数
生活費・医療費等の支払い、仕事・収入	885(513)
公的資金の貸付	1,951(116)
住居確保給付金	384(△159)
就労・就労準備相談	540(175)
家族・近隣等の関係（ひきこもりの相談を含む）	341(223)
緊急支援・制度について・その他(生活保護を含む)	877(△860)
計	4,978(8)

⑤ 対応

対応	件数
終了	1,353(△578)
継続	3,365(457)
計	4,718(△121)

⑥ 法に基づく事業等による支援の内訳(⑥、⑦、⑨、⑩厚労省支援システムから支援状況)

支援決定・確認件数　256 件(27)

⑦ 支援内容（重複有）

内容	件数
住居確保給付金	32(△58)
家計改善支援事業	6(3)
一時生活支援事業	9(1)
就労準備支援事業	10(7)
就労訓練事業(中間的就労)	-(-)
自立相談支援事業による就労支援	219(41)
生活福祉資金による貸付	16(10)
生活保護受給者等就労自立促進事業	55(7)
その他社協の事業による支援	108(37)
地域貢献委員会による支援	-(-)

＊その他社協の事業による支援･･･生活緊急支援金の給付　善意銀行の食品等の払出し

＊地域貢献委員会による支援･･･施設における職場見学・体験・実習　給食支援

⑧ 支援調整会議の開催（開催回数：12 回）

ケース会議で検討・共有したケースについて、プランの適切性の協議、支援提供者によるプランの共有、プラン終結時の評価、社会資源の充足状況の把握と開発に向けた検討を目的に、保護課と枚方ハローワークと月 1 回開催。支援するプランについての協議や、各機関の情報交換などを行いました。

開催日・参加人数	支援調整会議の内容
第 1 回 4 月 26 日(水)8 人	〔1〕R5 年 3 月の新規相談実績について 〔2〕プランの状況 〔3〕保護課より情報提供 〔4〕枚方ハローワークより情報提供（セミナー情報提供など） 〔5〕生活困窮者法律相談の実績報告 〔6〕住居確保給付金の状況についてプランの状況
第 2 回 5 月 24 日(水)5 人	〔1〕R5 年 4 月の新規相談実績について 〔2〕プランの状況 〔3〕保護課より情報提供 〔4〕枚方ハローワークより情報提供（セミナー情報提供など） 〔5〕生活困窮者法律相談の実績報告 〔6〕住居確保給付金の状況についてプランの状況
第 3 回 6 月 28 日(水)5 人	〔1〕R5 年 5 月の新規相談実績について 〔2〕プランの状況 〔3〕保護課より情報提供 〔4〕枚方ハローワークより情報提供（セミナー情報提供など） 〔5〕生活困窮者法律相談の実績報告 〔6〕住居確保給付金の状況についてプランの状況

開催日・参加人数	支援調整会議の内容
第4回7月26日(水)6人	〔1〕R5年6月の新規相談実績について 〔2〕プランの状況 〔3〕保護課より情報提供 〔4〕枚方ハローワークより情報提供(セミナー情報提供など) 〔5〕生活困窮者法律相談の実績報告 〔6〕住居確保給付金の状況についてプランの状況
第5回8月23日(水)6人	〔1〕R5年7月の新規相談実績について 〔2〕プランの状況 〔3〕保護課より情報提供 〔4〕枚方ハローワークより情報提供(セミナー情報提供など) 〔5〕生活困窮者法律相談の実績報告 〔6〕住居確保給付金の状況についてプランの状況
第6回9月27日(水)5人	〔1〕R5年8月の新規相談実績について 〔2〕プランの状況 〔3〕保護課より情報提供 〔4〕枚方ハローワークより情報提供(セミナー情報提供など) 〔5〕生活困窮者法律相談の実績報告 〔6〕住居確保給付金の状況についてプランの状況
第7回10月25日(水)5人	〔1〕R5年9月の新規相談実績について 〔2〕プランの状況 〔3〕保護課より情報提供 〔4〕枚方ハローワークより情報提供(セミナー情報提供など) 〔5〕生活困窮者法律相談の実績報告 〔6〕住居確保給付金の状況についてプランの状況
第8回11月22日(水)5人	〔1〕R5年10月の新規相談実績について 〔2〕プランの状況 〔3〕保護課より情報提供 〔4〕枚方ハローワークより情報提供(セミナー情報提供など) 〔5〕生活困窮者法律相談の実績報告 〔6〕住居確保給付金の状況についてプランの状況
第9回12月20日(水)5人	〔1〕R5年11月の新規相談実績について 〔2〕プランの状況 〔3〕保護課より情報提供 〔4〕枚方ハローワークより情報提供(セミナー情報提供など) 〔5〕生活困窮者法律相談の実績報告 〔6〕住居確保給付金の状況についてプランの状況
第10回1月24日(水)5人	〔1〕R5年12月の新規相談実績について 〔2〕プランの状況 〔3〕保護課より情報提供

開催日・参加人数	支援調整会議の内容
	〔4〕枚方ハローワークより情報提供（セミナー情報提供など） 〔5〕生活困窮者法律相談の実績報告 〔6〕住居確保給付金の状況についてプランの状況
第11回2月28日(水)5人	〔1〕R6年1月の新規相談実績について 〔2〕プランの状況 〔3〕保護課より情報提供 〔4〕枚方ハローワークより情報提供（セミナー情報提供など） 〔5〕生活困窮者法律相談の実績報告 〔6〕住居確保給付金の状況についてプランの状況
第12回3月27日(水)5人	〔1〕R6年2月の新規相談実績について 〔2〕プランの状況 〔3〕保護課より情報提供 〔4〕枚方ハローワークより情報提供（セミナー情報提供など） 〔5〕生活困窮者法律相談の実績報告 〔6〕住居確保給付金の状況についてプランの状況

⑨ 評価結果

プラン内訳	件数
支援調整会議におけるプラン協議	481(59)
内訳　新規・再プラン	256(27)
評価し再プラン	47(△1)
評価し終結	178(33)

⑩ 就労等に関する支援状況

新たに就労した人数	44(4)
転職・雇用条件の改善によって増収した人数	9(2)

⑪ 生活困窮者自立支援相談事業（法律相談）

大阪弁護士会による法律相談を月１回定例実施。弁護士の来所による相談だけでなく、電話やメールなどでの相談や弁護士事務所の同行なども行います。

相談者数(人)	20(7)
相談件数(件)	23(7)
内訳　借金（自己破産等）	13(9)
家事（離婚、家屋処分等）	3(-)
住宅（立ち退き、強制執行等）	3(2)
労働（解雇、賃金未払い等）	1(1)
その他（交通事故、土地問題等）	3(△5)

(2) 住居確保給付金事業

離職などにより住まい（賃貸住宅等）を失うおそれのある世帯に対し、家賃相当額を期限付きで支給（市が決定可否を行う）します。

また、再々延長・再申請の受付は令和５年３月末をもって終了しました。

相談・問合せ件数　　384(△157)

項　目	申請受付件数	市保護課提出件数	決定件数
初回	18(△24)	19(△24)	20(△18)
延長	6(△24)	6(△28)	6(△26)
再延長	5(△10)	5(△13)	5(△12)
再々延長	-(-)	-(-)	-(-)
再申請	-(△23)	-(△25)	-(△25)
計	29(△81)	30(△90)	31(△81)

*前年度申請分含む

支給回数(回)	80 (△251)
総額(円)	3,576,885(△8,901,015)

(3) 就労準備支援事業

日常生活における自立、地域社会への参加及び就労に向けた準備として、社会体験、職場体験の場など支援プログラムを作成し支援を実施し、社会参加、就労に向けた支援を行っています。

① 支援プログラム内容及び回数

支援対象(人)	5(△6)
内容	・ 作業体験（木工作業、パッチワーク作業、事務作業体験、精米作業） ・ コミュニケーショントレーニング ・ 就労継続支援事業所などへの体験入所 ・ 面談による就労意欲喚起や所作確認 ・ 事業所面接を想定した面接練習 ・ 一般職業適性検査の実施 ・ 利用者同士でのグループワーク ・ 一般企業、事業所による就労体験支援 計 101 回(80)

２０．生活福祉資金貸付事業＜府社協からの受託事業＞

低所得者世帯等に対し、経済的自立及び生活意欲や社会参加の促進等を図ることを目的に、民生委員の協力を得て資金の貸し付けと必要な相談支援を行っています。また、令和２年３月から始まった新型コロナウイルス感染症特例貸付は令和４年９月30日をもって受付終了しました。

（１）実績状況

<table>
<tr><th>資金種類</th><th>相談件数</th><th colspan="2">申請件数</th><th>決定件数</th><th>貸付決定額(円)</th></tr>
<tr><td>緊急小口資金</td><td>183(114)</td><td colspan="2">38(16)</td><td>28(11)</td><td>2,504,000
(957,000)</td></tr>
<tr><td>総合支援資金</td><td>83(68)</td><td colspan="2">1(△1)</td><td>-(△2)</td><td>-
(△1,050,000)</td></tr>
<tr><td>臨時特例つなぎ資金</td><td>-(-)</td><td colspan="2">-(-)</td><td>-(-)</td><td>-(-)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">福祉費</td><td rowspan="4">495(163)</td><td colspan="2">生活必需品(注)
64(29)</td><td>26(△3)</td><td>1,898,000
(△399,000)</td></tr>
<tr><td colspan="2">福祉費
15(12)</td><td>2(△1)</td><td>2,023,000
(△801,000)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">教育支援費</td><td colspan="2">生活保護世帯
28(10)</td><td>16(2)</td><td>8,810,000
(516,000)</td></tr>
<tr><td colspan="2">低所得世帯
26(5)</td><td>16(2)</td><td>8,857,000
(△4,734,000)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">不動産担保型生活資金</td><td rowspan="2">4(△1)</td><td>一般</td><td>-(-)</td><td>-(-)</td><td>-(-)</td></tr>
<tr><td>要保</td><td>1(1)</td><td>1(1)</td><td>5,453,000
(5,453,000)</td></tr>
<tr><td>特例貸付
緊急小口資金</td><td>-（△559)</td><td colspan="2">-(△267)</td><td>-(△233)
＊前年度申請分含む</td><td>-
(△45,220,000)</td></tr>
<tr><td>特例貸付
総合支援資金・延長貸付</td><td>-(△428)</td><td colspan="2">-(△261)</td><td>-(△233)
＊前年度申請分含む</td><td>-
(△125,950,000)</td></tr>
<tr><td>特例貸付
総合支援資金
再貸付</td><td>-(-)</td><td colspan="2">-(-)</td><td>-(-)
＊前年度申請分含む</td><td>-
(-)</td></tr>
<tr><td>計</td><td>765（△643)</td><td colspan="2">173(△456)</td><td>89(△456)
＊前年度申請分含む</td><td>29,545,000
(△171,228,000)</td></tr>
</table>

(注)生活必需品とは、生活保護世帯を対象に健康管理や日常生活に著しい支障をきたす場合において、エアコンや冷蔵庫等の生活必需品を購入するための貸付金

(2)特例貸付償還に関するフォローアップ

特例貸付の償還が困難である利用者に対し、償還に関する相談を受け、必要な支援を行っています。また、資金貸付や生活困窮での相談者に対し、特例貸付利用の有無を確認し、手続き・支援を促しています。

① 償還についてのフォローアップ実施状況

(免除、猶予等手続き支援)

実施項目	実施件数
Ⅰ:個々の状況に配慮した償還猶予等の案内	431
Ⅱ:訪問等のアウトリーチによる生活再建に向けた支援	3
Ⅲ:借受人へのフォローアップ支援	259
Ⅳ:償還免除申請に未応答の借受人へのフォローアップ支援	1,542
計	2,235

(相談への促し支援)

・ 償還を猶予するにあたり、市社協による猶予申請受付件数 145 件

・ 大阪府社協からの通知に応答のない利用者に対して案内チラシの配布 ※(2)-①Ⅳ
配布数:1,542 人

・ 償還猶予中の利用者に対して案内の配布
配布数:106 人

(3) 教育支援資金の案内チラシの配付

教育支援資金の内容や手続きの方法について周知を図るため、市内 12 中学校に協力を依頼し、中学 3 年生生徒に教育支援資金の案内チラシを配付。

実施回数:1 回

配布数:2,500 部

２１．生活緊急支援金給付事業

歳末たすけあい運動の募金を財源に、必要やむを得ない緊急的かつ一時的な理由によって、生活の維持が困難な世帯に対し、支援金の給付と相談援助等の支援を行っています。

(1) 生活緊急支援金の給付

①給付件数及び金額

給付件数	2(1)
給付金額(円)	29,000 (26,000)

②生活困窮のおもな原因

失業	就労収入減少	年金等収入減少	疾病	扶養援助喪失	その他	計
1(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	1(1)	2(1)

③世帯人員の状況

単身	2人	3人	4人	5人以上	計
1 (1)	1(-)	-(-)	-(-)	-(-)	2 (1)

④申請者の年齢状況

20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	計
-(-)	-(△1)	-(-)	-(-)	1(1)	1(1)	-(-)	-(-)	2(1)

⑤原資の状況

項目	件数	金額
1. 前年度末原資残高		3,801,025円
2. 緊急支援金給付金支出	2件	29,000円
3. 歳末たすけあい募金助成金収入	-件	-円
4. 指定寄附金収入	-件	-円
5. 利息収入	2件	36円
3月末時点原資残高 (1-2+5)		3,772,061円

２２．日常生活自立支援事業(福祉サービス利用援助事業)＜府社協からの受託事業＞

認知症高齢者、知的障害者、精神障害者など判断能力が十分ではない方々に対して、日常的な金銭管理、福祉サービスの利用援助などの支援を行っています。

(1) 契約件数および支援回数

区分	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	計
前年度末契約数(A)	16(△4)	32(△1)	63(3)	111(△2)
新規契約数(B)	4(2)	1(△1)	7(△3)	12(△2)
契約終了数(C)	4(△2)	1(△2)	7(-)	12(△4)
契約数(A)+(B)-(C)	16(-)	32(-)	63(-)	111(-)
支援回数	234(△15)	892(△1)	2,210(28)	3,336(12)
契約準備数	2(-)	-(-)	2(1)	4(1)

※契約準備数は３月末時点より、２ヵ月後までに契約締結見込数

(2) 新規契約の相談経路

区分	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	計
介護事業所	4(2)	-(-)	-(-)	4(2)
障害福祉課・保護課	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
保健所	-(-)	-(△1)	-(-)	-(△1)
医療機関	-(-)	-(-)	1(△5)	1(△5)
障害者支援機関	-(-)	1(-)	5(1)	6(1)
地域包括支援センター	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
社会福祉協議会	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
家族・本人	-(-)	-(-)	1(1)	1(1)
計	4(2)	1(△1)	7(△3)	12(△2)

(3) 契約終了の理由内訳

区分	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	計
死亡	3(△2)	1(1)	1(△3)	5(△4)
成年後見人等が就任	-(-)	-(△2)	-(-)	-(△2)
家族等管理	-(-)	-(-)	1(1)	1(1)
施設入所に伴い施設管理等	-(△1)	-(-)	-(△1)	-(△2)
転居に伴い支援社協変更	1(1)	-(△1)	2(2)	3(2)
自己都合	-(-)	-(-)	3(1)	3(1)
計	4(△2)	1(△2)	7(-)	12(△4)

(4) 利用者に対する支援実施状況

① サービス別利用状況

区分	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	計
利用援助サービス	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
利用援助サービス+金銭管理	15(-)	25(-)	58(△2)	98(△2)
利用援助サービス+預かりサービス	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
利用援助サービス+金銭管理+預かりサービス	1(-)	7(-)	5(2)	13(2)
計	16(-)	32(-)	63(-)	111(-)

② 性別・世帯状況・生活の場所

区分		認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	計
性別	男性	11(3)	16(-)	40(△1)	67(2)
	女性	5(△3)	16(-)	23(1)	44(△2)
世帯	単身者	14(1)	23(1)	57(△1)	94(1)
	夫婦	2(-)	2(-)	-(-)	4(-)
	その他	-(△1)	7(△1)	6(1)	13(△1)
生活の場所	在宅	7(-)	22(-)	42(△1)	71(△1)
	グループホーム	1(-)	8(△1)	12(△1)	21(△2)
	福祉施設	7(△1)	2(2)	4(△1)	13(-)
	病院	1(1)	-(△1)	5(3)	6(3)

※福祉施設：特別養護老人ホーム、住宅型有料老人ホーム、サービス付高齢者住宅

③ 経済状況

区分		認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	計
経済状況	生活保護世帯	10(△3)	18(1)	49(△1)	77(△3)
	所得税非課税世帯	6(3)	13(△1)	13(1)	32(3)
	所得税課税世帯	-(-)	1(-)	1(-)	2(-)

④ 支援計画に基づく１か月あたりの支援回数

区分	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	計
週１回	-(-)	6(-)	28(-)	34(-)
月１回	14(2)	14(1)	26(1)	54(4)
隔週	-(-)	7(△1)	5(△1)	12(△2)
月２回	1(△1)	4(-)	4(-)	9(△1)
２か月に１回	1(△1)	1(-)	-(-)	2(△1)
計	16(-)	32(-)	63(-)	111(-)

(5) 利用者に関する相談・問合せ件数

① 相談・問合せ方法

電話	来所	訪問	計
2,090(101)	77(34)	19(10)	2,186(145)

② 相談経路内訳

区分	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	計
本人	21(9)	392(93)	1,402(△35)	1,815(67)
家族	6(△5)	13(-)	47(-)	66(△5)
知人	-(-)	-(-)	3(3)	3(3)
民生委員・児童委員	-(-)	1(1)	-(-)	1(1)
介護保険施設	19(△12)	-(△3)	6(△5)	25(△20)
その他福祉施設	3(△3)	9(△15)	36(16)	48(△2)
専門相談機関	8(-)	13(△3)	80(48)	101(45)
行政	3(△4)	10(5)	17(12)	30(13)
医療機関	2(△2)	-(△3)	41(6)	43(1)
その他	5(2)	10(9)	39(31)	54(42)
計	67(△15)	448(84)	1,671(76)	2,186(145)

③ 相談・問合せ内容(重複回答あり)

区分	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	計
福祉ｻｰﾋﾞｽ利用援助	8(△37)	201(△6)	566(△566)	775(△609)
日常的な金銭管理	32(△7)	336(34)	1,257(44)	1,625(71)
書類などの預かり	2(△2)	2(-)	12(9)	16(7)
その他生活相談	48(△5)	174(36)	1,006(△102)	1,228(△71)
成年後見制度関連	3(△20)	3(△2)	5(△1)	11(△23)
計	93(△71)	716(62)	2,846(△616)	3,655(△625)

(6) 申込相談受付・事業問合せ件数

区分	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	その他	計
既申込相談件数	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
新規相談件数	18(6)	2(△2)	21(1)	-(-)	41(5)
事業問合せ件数	4(△19)	5(4)	25(19)	3(△3)	37(1)

２３．善意銀行事業

市民・団体から寄せられた金品を預かり、必要としている方へ払い出しを行っています。

(1) 預託・払出の状況

① 現金預託・払出の実施状況

預託　1 件　預託金額　10,000 円(98 円)

払出　2 件　払出金額　10,000 円(98 円)

※3 月 31 日現在の残高金額　5,057 円

② 物品預託・払出の実施状況

	預託者	件数	点数	主な品名
預託	市民	26(7)	54(13)	物品 5 件 日用品、乳幼児用紙おむつ、靴下、車いす、手押し車、杖、入浴用いす、介護用紙おむつ、からだ拭き
	団体	13(3)	36(1)	
	地域貢献委員会	30(20)	50(39)	
	企業	14(2)	15(3)	
	匿名	-(-)	-(-)	食品 78 件 精米、長期保存米、缶詰、長期保存パン、インスタント食品、レトルト食品、加工食品、乾麺
	計	83(32)	155(56)	

	払出先	件数	点数	主な品名
払出	市民	116(19)	535(160)	物品 5 件 手押し車、乳幼児用紙おむつ、車いす、杖、調理用品、オーブントースター 食品 111 件 精米、長期保存米、缶詰、長期保存パン、インスタント麺、レトルト食品、加工食品
	計	116(19)	535(160)	

２４．法人運営・基盤強化事業

住民を主体とした地域福祉を推進する法人として、経営基盤・運営基盤の強化・発展を図ります。

(1) 法人運営事業

① 役員会の開催（開催回数：12 回）

第１回　4 月 19 日（水）　出席：役員 3 人

報　告

〔1〕常務理事の辞任について

〔2〕事務局職員人事異動について

議　案

〔1〕敬老記念式典における表彰者の推薦要領について

〔2〕まちかど福祉相談員養成研修会開催要項について

〔3〕運転協力者（福祉・セダン）認定講習会開催要項について

〔4〕小地域ネットワーク活動推進事業補助金の増額に伴う校区福祉委員会補助金要綱の改正について

報　告

〔1〕会員募集中間報告について

〔2〕緊急時安否確認に関する状況報告について

〔3〕生活緊急支援金給付状況の報告について

〔4〕善意銀行預託払い出し及び福祉基金の状況について

〔5〕委員会報告

その他

〔1〕寝屋川市こども部子育て支援課より「ねやがわ子育てナビ」について（依頼）

〔2〕寝屋川高齢者サポートセンターより「高齢者の生活支援活動の説明会」のチラシ配布について（依頼）

第２回　5 月 10 日（水）　出席：役員 3 人

議　案

〔1〕令和 4 年度事業報告認定について

〔2〕令和 4 年度社会福祉事業決算報告認定について

〔3〕第 1 回評議員会の開催について

〔4〕評議員候補者の評議員選任・解任委員会への推薦について

〔5〕区分 5「有識者」の選任について

報　告

〔1〕役員候補者の報告について

〔2〕会長及び常務理事職務執行状況報告について（令和４年度下半期分）

〔3〕緊急時安否確認に関する状況把握調査の分析報告

〔4〕生活緊急支援金給付状況の報告について

〔5〕善意銀行預託払い出し及び福祉基金の状況について
〔6〕委員会報告

第３回　６月 21 日（水）　出席：役員３人
議　案
〔1〕顧問の選任について
〔2〕各種専門委員会委員の選任について
〔3〕役員改選に伴う退任者への感謝状等の贈呈について
〔4〕赤い羽根共同募金運動実施要項について
〔5〕敬老記念式典における表彰者の推薦について
〔6〕ボランティア体験プログラムについて
〔7〕ボランティア講座「技術編」開催要項について
報　告
〔1〕赤い羽根共同募金配分申請受付について
〔2〕生活緊急支援金給付状況の報告について
〔3〕善意銀行預託払い出し及び福祉基金の状況について
〔4〕「緊急時安否確認に関する状況把握調査」報告書の活用について
〔5〕後援承認について
〔6〕委員会報告
その他
〔1〕令和４年度ＣＳＷ報告書について

第４回　７月 19 日（水）　出席：役員３人
議　案
〔1〕歳末たすけあい運動実施要項について
〔2〕運転協力者現任研修会開催要項について
報　告
〔1〕敬老記念式典における表彰者の決定について
〔2〕今後の理事会等の予定について
〔3〕生活緊急支援金給付状況の報告について
〔4〕善意銀行預託払い出し及び福祉基金の状況について
〔5〕後援承認について
〔6〕委員会報告

第５回　８月 23 日（水）　出席：役員３人
議　案
〔1〕今後の地域包括支援センター運営について
報　告
〔1〕生活緊急支援金給付状況の報告について
〔2〕善意銀行預託払い出し及び福祉基金の状況について

第６回　９月 14 日（木）　出席：役員３人

議　案

〔1〕社会福祉事業補正予算（第１号）について

〔2〕寝屋川中央ライオンズクラブとの災害時におけるボランティア支援に関する協定の締結について

報　告

〔1〕生活緊急支援金給付状況の報告について

〔2〕善意銀行預託払い出し及び福祉基金の状況について

〔3〕後援承認について

〔4〕委員会報告

第７回　10 月 18 日（水）　出席：役員３人

議　案

〔1〕歳末たすけあい運動募金配分計画について

〔2〕令和６年度社会福祉協議会会員募集実施要項について

報　告

〔1〕会長職務執行状況報告について（４～９月分）

〔2〕赤い羽根共同募金の街頭募金実績報告について

〔3〕歳末たすけあい運動街頭募金の日程について

〔4〕緊急時安否確認に関する状況報告について

〔5〕生活緊急支援金給付状況の報告について

〔6〕善意銀行預託払い出し及び福祉基金の状況について

〔7〕後援承認について

〔8〕委員会報告

第８回　11 月８日（水）　出席：役員３人

議　案

〔1〕中間監査報告について

〔2〕ボランティア講座（入門編）開催要項について

〔3〕ボランティア講座（シニア編）開催要項について

報　告

〔1〕赤い羽根共同募金の街頭募金実績報告について

〔2〕生活緊急支援金給付状況の報告について

〔3〕善意銀行預託払い出し及び福祉基金の状況について

〔4〕後援承認について

〔5〕委員会報告

その他

〔1〕10 月 27 日開催の第６回理事会における事務局確認の件（報告）
〔2〕会員募集の課題点

第９回　12 月 19 日（火）　出席：役員３人
議　案
〔1〕社会福祉法人寝屋川市社会福祉協議会事務局職員給与規程の一部改正について
〔2〕校区福祉委員指導者研修会開催要項について
〔3〕福祉広報研修会開催要項について
〔4〕子育てサロン担当者交流会開催要項について
〔5〕まちかど福祉相談員現任研修会開催要項について
報　告
〔1〕消費税の未納問題と対応について
〔2〕社協運営委員会における課題について
〔3〕将来の事務所移転に伴う諸課題
〔4〕歳末たすけあい運動の街頭募金実績報告について
〔5〕生活緊急支援金給付状況の報告について
〔6〕善意銀行預託払い出し及び福祉基金の状況について
〔7〕後援承認について
〔8〕委員会報告
その他
〔1〕高齢介護室より「第四中学校区地域包括支援センター名称変更について」（依頼）
〔2〕Club　E&T「第８回寝屋川ハート・アート展」のチラシ配布について（依頼）
〔3〕木下大サーカス招待券配付について
〔4〕大阪府社会福祉協議会より「のぞいてみましょカイゴのホント」チラシ配布について

第 10 回　1 月 25 日（木）　出席：役員３人
議　案
〔1〕令和６年度　ひとり暮らし高齢者調査実施要項について
報　告
〔1〕歳末たすけあい運動募金実績報告について
〔2〕生活緊急支援金給付状況の報告について
〔3〕善意銀行預託払い出し及び福祉基金の状況について
〔4〕委員会報告
その他
〔1〕登録ボランティアグループ紹介冊子配布について

第 11 回　2 月 14 日（水）　出席：役員３人
議　案

〔1〕受託事業の消費税課税に伴う修正申告の対応について
〔2〕重層的支援体制整備事業の受託について
〔3〕令和６年度福祉学習説明会開催要項について
報　告
〔1〕令和６年度ボランティア講座（入門編）について
〔2〕令和６年度災害時に備えた地域丸ごと座談会について
〔3〕令和６年度地域献血日程について
〔4〕生活緊急支援金給付状況の報告について
〔5〕善意銀行預託払い出し及び福祉基金の状況について
〔6〕後援承認について

第12回　３月６日（水）　出席：役員３人
議　案
〔1〕社会福祉事業補正予算（第２号）について
〔2〕災害時対応マニュアル及び事業継続計画（BCP）について
〔3〕社会福祉法人寝屋川市社会福祉協議会経理規程の一部改正について
〔4〕社会福祉法人寝屋川市社会福祉協議会事務局組織及び職員設置規程の一部改正について
〔5〕令和６年度事業計画について
〔6〕令和６年度社会福祉事業予算について
〔7〕第２回評議員会の開催について
〔8〕役員等賠償責任保険契約の内容の決議について
報　告
〔1〕令和６年度年間行事予定について
〔2〕生活緊急支援金給付状況の報告について
〔3〕善意銀行預託払い出し及び福祉基金の状況について
〔4〕後援承認について
〔5〕委員会報告

② 理事会の開催（開催回数：10回）
第１回　４月26日（水）　出席：理事22人・監事２人
報　告
〔1〕常務理事の辞任について
〔2〕事務局職員人事異動について
議　案
〔1〕敬老記念式典における表彰者の推薦要領について
〔2〕まちかど福祉相談員養成研修会開催要項について
〔3〕運転協力者（福祉・セダン）認定講習会開催要項について

〔4〕小地域ネットワーク活動推進事業補助金の増額に伴う校区福祉委員会補助金要綱の改正について

報　告

〔1〕会員募集中間報告について

〔2〕緊急時安否確認に関する状況報告について

〔3〕生活緊急支援金給付状況の報告について

〔4〕善意銀行預託払い出し及び福祉基金の状況について

〔5〕委員会報告

その他

〔1〕寝屋川市こども部子育て支援課より「ねやがわ子育てナビ」について（依頼）

〔2〕寝屋川高齢者サポートセンターより「高齢者の生活支援活動の説明会」のチラシ配布について（依頼）

第２回　５月 26 日（金）　出席：理事 18 人・監事２人

議　案

〔1〕令和４年度事業報告認定について

〔2〕令和４年度社会福祉事業決算報告認定について

〔3〕第１回評議員会の開催について

〔4〕評議員候補者の評議員選任・解任委員会への推薦について

〔5〕区分５「有識者」の選任について

報　告

〔1〕役員候補者の報告について

〔2〕会長及び常務理事職務執行状況報告について（令和４年度下半期分）

〔3〕生活緊急支援金給付状況の報告について

〔4〕善意銀行預託払い出し及び福祉基金の状況について

〔5〕緊急時安否確認に関する状況把握調査の分析報告

〔6〕委員会報告

臨時　６月 15 日（木）　出席：理事 23 人・監事２人

議　案

〔1〕会長・副会長の選定について

第３回　６月 28 日（水）　出席：理事 24 人・監事２人

議　案

〔1〕顧問の選任について

〔2〕各種専門委員会委員の選任について

〔3〕役員改選に伴う退任者への感謝状等の贈呈について

〔4〕赤い羽根共同募金運動実施要項について

〔5〕敬老記念式典における表彰者の推薦について

〔6〕ボランティア体験プログラムについて
〔7〕ボランティア講座「技術編」開催要項について
報　告
〔1〕赤い羽根共同募金配分申請受付について
〔2〕生活緊急支援金給付状況の報告について
〔3〕善意銀行預託払い出し及び福祉基金の状況について
〔4〕「緊急時安否確認に関する状況把握調査」報告書の活用について
〔5〕後援承認について
〔6〕委員会報告
その他
〔1〕令和４年度ＣＳＷ報告書について

第４回　7 月 25 日（火）　出席：理事 22 人・監事 2 人
議　案
〔1〕歳末たすけあい運動実施要項について
〔2〕運転協力者現任研修会開催要項について
報　告
〔1〕敬老記念式典における表彰者の決定について
〔2〕今後の理事会等の予定について
〔3〕生活緊急支援金給付状況の報告について
〔4〕善意銀行預託払い出し及び福祉基金の状況について
〔5〕後援承認について
〔6〕委員会報告

第５回　9 月 27 日（水）　出席：理事 23 人・監事 2 人
議　案
〔1〕社会福祉事業補正予算（第１号）について
〔2〕寝屋川中央ライオンズクラブとの災害時におけるボランティア支援に関する協定の締結について
報　告
〔1〕生活緊急支援金給付状況の報告について
〔2〕善意銀行預託払い出し及び福祉基金の状況について
〔3〕後援承認について
〔4〕委員会報告

第６回　10 月 27 日（金）　出席：理事 19 人・監事 2 人
議　案
〔1〕歳末たすけあい運動募金配分計画について
〔2〕令和６年度社会福祉協議会会員募集実施要項について

報　告

〔1〕会長職務執行状況報告について（４～９月分）

〔2〕赤い羽根共同募金の街頭募金実績報告について

〔3〕歳末たすけあい運動街頭募金の日程について

〔4〕緊急時安否確認に関する状況報告について

〔5〕生活緊急支援金給付状況の報告について

〔6〕善意銀行預託払い出し及び福祉基金の状況について

〔7〕後援承認について

〔8〕委員会報告

第７回　11 月 24 日（金）　出席：理事 21 人・監事２人

監査報告

〔1〕中間監査報告について

議　案

〔1〕ボランティア講座（入門編）開催要項について

〔2〕ボランティア講座（シニア編）開催要項について

報　告

〔1〕赤い羽根共同募金運動実績報告について

〔2〕生活緊急支援金給付状況の報告について

〔3〕善意銀行預託払い出し及び福祉基金の状況について

〔4〕後援承認について

〔5〕委員会報告

その他

〔1〕10 月 27 日開催の第６回理事会における事務局確認の件（報告）

第８回　12 月 20 日（水）　出席：理事 22 人・監事２人

議　案

〔1〕社会福祉法人寝屋川市社会福祉協議会事務局職員給与規程の一部改正について

〔2〕校区福祉委員指導者研修会開催要項について

〔3〕福祉広報研修会開催要項について

〔4〕子育てサロン担当者交流会開催要項について

〔5〕まちかど福祉相談員現任研修会開催要項について

報　告

〔1〕歳末たすけあい運動の街頭募金実績報告について

〔2〕生活緊急支援金給付状況の報告について

〔3〕善意銀行預託払い出し及び福祉基金の状況について

〔4〕後援承認について

〔5〕委員会報告

その他

〔1〕高齢介護室より「第四中学校区地域包括支援センター名称変更について」(依頼)

〔2〕Club　E&T「第８回寝屋川ハート・アート展」のチラシ配布について(依頼)

〔3〕木下大サーカス招待券配付について

〔4〕大阪府社会福祉協議会より「のぞいてみましょカイゴのホント」チラシ配布について

第９回　２月21日（水）　出席：理事20人・監事２人

議　案

〔1〕受託事業の消費税課税に伴う修正申告の対応について

〔2〕重層的支援体制整備事業の一部受託について

〔3〕令和６年度ひとり暮らし高齢者調査実施要項について

〔4〕令和６年度福祉学習説明会開催要項について

報　告

〔1〕歳末たすけあい運動募金実績報告について

〔2〕令和６年度ボランティア講座（入門編）について

〔3〕令和６年度災害時に備えた地域丸ごと座談会について

〔4〕令和６年度地域献血日程について

〔5〕生活緊急支援金給付状況の報告について

〔6〕善意銀行預託払い出し及び福祉基金の状況について

〔7〕後援承認について

〔8〕委員会報告

その他

〔1〕登録ボランティアグループ紹介冊子配布について

第10回　３月13日（水）　出席：理事20人・監事２人

議　案

〔1〕社会福祉事業補正予算（第２号）について

〔2〕災害時対応マニュアル及び事業継続計画（BCP）について

〔3〕社会福祉法人寝屋川市社会福祉協議会経理規程の一部改正について

〔4〕社会福祉法人寝屋川市社会福祉協議会事務局組織及び職員設置規程の一部改正について

〔5〕令和６年度事業計画について

〔6〕令和６年度社会福祉事業予算について

〔7〕第２回評議員会の開催について

〔8〕役員等賠償責任保険契約の内容の決議について

報　告

〔1〕令和６年度年間行事予定について

〔2〕生活緊急支援金給付状況の報告について

〔3〕善意銀行預託払い出し及び福祉基金の状況について

〔4〕後援承認について

〔5〕委員会報告

③ 評議員会の開催（開催回数：2回）

第1回　6月15日（木）出席：評議員36人・理事22人・監事2人

報　告

〔1〕事務局職員人事異動について

議　案

〔1〕令和4年度社会福祉法人寝屋川市社会福祉協議会事業報告承認について

〔2〕令和4年度社会福祉法人寝屋川市社会福祉協議会社会福祉事業決算報告承認について
【令和4年度監査報告】

〔3〕役員の選任について

報　告

〔1〕緊急時安否確認に関する状況把握調査の分析報告

第2回　3月28日（木）出席：評議員31人・理事18人・監事2人

補正予算報告

〔1〕社会福祉法人寝屋川市社会福祉協議会社会福祉事業補正予算（第1号）について

〔2〕社会福祉法人寝屋川市社会福祉協議会社会福祉事業補正予算（第2号）について

議　案

〔1〕令和6年度社会福祉法人寝屋川市社会福祉協議会事業計画について

〔2〕令和6年度社会福祉法人寝屋川市社会福祉協議会社会福祉事業予算について

報　告

〔1〕災害時対応マニュアル及び事業継続計画（ＢＣＰ）について

〔2〕令和6年度年間行事予定・地域献血日程について

④ 役員・評議員候補者選任区分別会議の開催（開催回数：3回）

役員・評議員退任に伴い、区分別会議を開催しました。

【区分1】校区福祉委員会

【区分2】福祉専門機関・団体

【区分4】当事者組織

⑤ 評議員選任・解任委員会の開催（開催回数：1回）

定款に基づき、評議員選任・解任委員会を設置し、評議員の選任を行いました。

第1回　6月2日（金）　出席：3人

⑥ 社協運営委員会の開催（開催回数：1回）

社協の運営にかかわる諸問題のうち、会長が運営委員会での検討を要すると認めた事項に

ついて、その課題解決の方向性等について検討し、必要に応じて役員会に報告又は提案を行います。

第1回　9月27日（水）　出席：6人

議　案

〔1〕 正副委員長の選出について

〔2〕 歳末たすけあい運動募金の配分について

〔3〕 その他

⑦ 組織構成会員募集の実施

地域の各種団体や福祉関係者の参加を得て地域福祉活動を広範にすすめていくために組織構成会員を募集し、161の団体や施設の加入がありました。

⑧ 災害時に備えた事業継続計画（ＢＣＰ）の策定

非常時においても、重要な業務を中断させず必要なレベルで継続することができるよう、災害時に備えた事業継続計画を策定（200部作成）し、本会関係者に配付しました。

(2) 地域貢献委員会等の運営支援

組織構成会員の社会福祉法人46団体で構成される地域貢献委員会の事務局を担い、運営の支援を行います。

① 総会の開催

開催日　3月5日(火) 出席:19人(18法人)

内　容　〔1〕 令和5年度事業報告について、令和5年度決算報告について

〔2〕令和5年度監査報告

〔3〕令和6年度事業計画(案)について、令和6年度予算(案)について

② 四役会の開催(開催回数：3回)

第1回　5月10日（水）　出席：3人

〔1〕 ①大阪しあわせネットワーク「市町村域しあわせネットワーク体制構築モデル事業」で検討する取り組みについて

②「アウトリーチ型研修」助成事業について

〔2〕 地域貢献委員会フードドライブ活動事業計画

〔3〕 その他

第2回　5月22日（月）　出席：4人

〔1〕 ①大阪しあわせネットワーク「市町村域しあわせネットワーク体制構築モデル事業」で検討する取り組みについて

②「アウトリーチ型研修」助成事業について

〔2〕 地域貢献委員会フードドライブ活動事業計画

〔3〕 その他

第3回　1月23日（火）　出席：3人
〔1〕「アウトリーチ型研修」講演会の開催について
〔2〕年度総会について
〔3〕その他

③ 研修会の開催（開催回数：1回）

地域貢献委員会会員施設職員を対象に、課題のある相談者に対し寄り添う支援を進めるにあたり、当事者の視点からその学びを深める目的で開催しました。

開催日　3月5日（火）
会　場　市民会館　第一会議室
内　容　「孤独からの脱却」
講　師　株式会社山口達也　山口　達也　氏
参加数　77人

④ フードドライブ活動の実施に向けた全体説明会の開催

開催日　7月6日（木）
会　場　市民会館　第一会議室
参加数　29人（22法人）

⑤フードドライブ活動取り組み実績

取り組み施設　22事業所
品　　目　精米、玄米、レトルト粥、インスタント食品、缶詰、レトルト食品、ペットボトル飲料、長期保存パン、長期保存米、乳児用粉乳　など　636品目

(3) 高齢者施設協議会の運営支援

高齢者福祉施設を経営する社会福祉法人16法人で構成される高齢者施設協議会の運営支援を行いました。

①　総会の開催

開催日　6月12日（月）　16人（11法人）
内　容　〔1〕令和5年度　寝屋川市高齢者施設協議会事業計画
　　〔2〕令和5年度　寝屋川市高齢者施設協議会事業予算

② 例会の開催（開催回数：2回）

開催日　8月16日（水）　13人(11法人)

内　容　〔1〕講演:心不全医療について（小松病院　中谷看護師長より）

〔2〕地域貢献委員会フードドライブ活動事業について

〔3〕災害時に向けて市への要望・懸念点など協議

開催日　2月1日（木）　28人(15法人)

内　容　〔1〕講演:令和6年度の主要な施策について（寝屋川市長　広瀬　慶輔氏より）

〔2〕福祉部高齢介護室より事務連絡

〔3〕介護報酬改定について

(4) 財源確保事業

① 会員募集の実施

〔1〕住民賛助会費　15,910,797円（△ 340,157円）（令和6年3月31日時点）

〈住民賛助会員：会員区分別金額・口数表〉　（単位：円）

区分	一　般	特　別	賛　助	特別賛助	名　誉	特別名誉	協力費	計
金額	8,112,000	692,000	174,000	267,000	320,000	380,000	5,965,797	15,910,797
口数	16,224	692	87	89	64	38		17,194

〈校区福祉委員会別実績〉

校　区	令和5年度	令和4年度	比較増減
池　田	872,557	937,240	△64,683
石　津	110,919	130,278	△19,359
宇　谷	273,598	290,963	△17,365
梅が丘	215,275	243,210	△27,935
神　田	570,851	607,636	△36,785
北	1,086,774	1,108,788	△22,014
木　田	736,612	743,589	△6,977
楠　根	191,880	186,200	5,680
国松緑丘	644,032	735,637	△91,605
啓　明	664,925	697,001	△32,076
木　屋	699,474	719,405	△19,931
桜	653,639	567,860	85,779
点　野	691,047	646,640	44,407
成　美	1,230,164	1,256,159	△25,995
田　井	490,438	498,140	△7,702
第　五	2,305,531	2,369,728	△64,197
中　央	614,501	600,984	13,517
西	551,061	540,173	10,888

校　区	令和５年度	令和４年度	比較増減
東	761,570	875,150	△113,580
堀　　溝	792,255	818,728	△26,473
三　　井	235,815	266,314	△30,499
南	775,935	731,505	44,430
明　　和	127,200	130,000	△2,800
和　　光	560,696	507,447	53,249
そ　の　他	54,048	42,179	11,869
計	15,910,797	16,250,954	△340,157

〔2〕組織構成会員会費　　718,000 円（11,000 円）
（法人 118　その他組織団体 32：計 150 事業所・団体）

② その他財源確保に関する取り組みの実施・調査・研究

〔1〕福祉基金（目標額：3 億円）

令和 4 年度末の福祉基金額　　250,393,054 円
令和 5 年度基金の積立額　　18,054,102 円
（寄附件数 1 件　17,747,676 円　利息　306,426 円）
令和 6 年 3 月末の福祉基金額　　268,447,156 円

〔2〕一般寄附金

令和 5 年度の寄附金額　　98,503 円（寄附件数 10 件）

〔3〕調査・研究

赤い羽根共同募金、歳末たすけあい募金等他市の取組等聞き取りを行いました。

(5) 実習生の受入れ

社会福祉士等資格取得を目指す学生の受入れを行いました。

大阪公立大学　1 人
関西大学　1 人
武庫川女子大学 1 人
同志社大学　1 人
大阪医専　2 人
計 6 人

(6) 短期インターンシップ生の受入れ

社会福祉協議会の活動の理解と関心を持ってもらうため、大阪府社会福祉協議会と連携して短期インターンシップ生（大学生）の受入れを行いました。

同志社女子大学　1 人
京都女子大学　1 人
帝塚山学院大学　1 人

創価大学　　1人
新見公立大学　　1人　　計5人

(7) 視察受入れ

東近江市社会福祉協議会（東近江市民生委員児童委員協議会）　内容：小地域ネットワーク活動
八尾市社会福祉協議会（八尾市地区福祉委員長協議会）　内容：小地域ネットワーク活動
長野県東御市社会福祉協議会（事務局職員）　内容：CSW事業および生活困窮者自立支援事業

２５．研修事業

地域福祉を推進するため最新の福祉施策や制度・サービス、地域福祉活動の動向を学び、本市の地域福祉活動に活かすことを目的に研修会に参加しました。

(1) 役員（理事・監事）・評議員研修

①社会福祉法人監事研修会への参加

開催日　１月 23 日（火）

会　場　大阪社会福祉指導センター

内　容　講義「監事の会計監査のポイント」

　　実践報告「施設運営において取り組んでいること」

参加数　２人

(2) 職員研修

① 総務課、地域福祉課、生活支援課共通

No.	研修名（内容）	日数	参加人数
1	寝屋川市新規採用職員研修	4	6
2	市町村社協新任職員研修会	5	6
3	寝屋川市多職種連携勉強会(第１回寝屋川市 Meetup!)	1	2
4	介護支援専門員更新研修	7	1
5	面接相談援助技術基礎講座	1	2
6	日常生活自立支援事業　新任職員研修	2	1
7	社会福祉法人会計の簿記入門・初級講座	5	1
8	大阪ええまちプロジェクト「市町村向け地域づくり研修会」	1	2
9	全国福祉教育推進員研修	2	1
10	地域福祉コーディネーターのための基礎研修	5	4
11	e コミュニティ・プラットフォーム操作研修会	1	2
12	生活支援コーディネーター養成研修	1	1
13	対人援助専門職講座	3	2
14	健康保険委員研修会	1	1
15	市町村ヤングケアラー支援研修会	1	1
16	共創ネットワークシンポジウム「はぐくむ子供と未来」	1	1
17	共生・福祉のまちづくり研修	1	3
18	メンタルヘルス研修	1	2
19	市町村社協災害担当職員会議	1	1
20	大阪府スクールソーシャルワーカー連絡会	1	1

No.	研修名（内容）	日数	参加人数
21	地域共生社会推進全国サミット in とよた	2	1
22	地域包括支援センターにおける効果的な記録の取り方について	1	2
23	社会福祉士実習指導者講習会	2	1
24	大阪府生活困窮者自立支援制度人材養成研修(初心者向け研修) 大阪府任意研修	1	1
25	内部研修：苦情相談における対応方法	1	11
26	在宅医療・介護連携推進研修会	1	1
27	地域福祉コーディネータースキルアップ研修（専門Ⅱ）	1	1
28	寝屋川市要保護児童対策地域協議会研修会	1	1
29	社協の人材確保の取り組み座談会	1	1
30	生活困窮者自立支援事業従事者養成研修(国研修、近畿ブロック研修、府県研修)	6	6
31	高齢者虐待における一連の対応と帳票について	1	1
32	大阪府市町村社会福祉協議会職員共済会研修会	1	1
33	地域福祉コーディネータースキルアップ研修（専門Ⅲ）	1	2
34	成年後見制度実務者のための事例検討会	1	1
35	電子帳簿保存法対策セミナー	1	2
36	通所型サービス（短期集中）に係る研修会	1	3
37	監事研修会	1	1
38	独居高齢者及び終活に関する内容について	1	1
39	高齢者の権利を守るための視点と成年後見制度について	1	1
40	第２回健康保険委員研修会	1	1
41	介護予防・日常生活支援総合事業および生活支援体制整備事業に係る研修会	1	6
42	地区募金会実践報告会	1	1
43	大阪ええまちプロジェクト第２回市町村向け地域づくり研修会	1	2
44	生活支援体制整備事業に係る充実強化研修	1	2
45	災害ボランティアセンター設置運営訓練（枚方市）	1	1
46	第 35 回近畿地域福祉学会（※）	1	4
計		78	97

※「第 35 回近畿地域福祉学会」において、「孤独・孤立を防ぐ地域づくりへ　～住民による安否確認の状況分析から～」を研究報告しました。

２６．大阪府共同募金会寝屋川地区募金会の運営

赤い羽根共同募金運動の実施、共同募金配分申請の受付事務等を行っています。

(1) 寝屋川地区募金会理事会の開催（開催回数:3 回）

第 1 回　6 月 28 日（水）出席：理事 24 人・監事 2 人

議　案

〔1〕赤い羽根共同募金実施要項について

報　告

〔1〕赤い羽根共同募金配分申請受付について

第 2 回　10 月 27 日（金）出席：理事 19 人・監事 2 人

報　告

〔1〕赤い羽根共同募金運動の街頭募金実績報告について

第 3 回　11 月 24 日（金）出席：理事 21 人・監事 2 人

報　告

〔1〕赤い羽根共同募金運動実績報告について

(2) 共同募金配分申請の受付

共同募金配分申請について周知し、施設・団体等から申請の受付を行いました。

周　知　　機関紙「虹」(5 月 1 日号)

受付件数　4 件

(3) 共同募金配分決定

令和 5 年度赤い羽根共同募金（10 月 1 日～同月 31 日実施）の実績をもとに、大阪府共同募金会の審査を経て、令和 6 年 3 月に配分先が決定しました。

〔1〕赤い羽根共同募金による配分　(3 件 12,566,354 円)

① 社会福祉協議会　9,991,354 円

（機関紙「虹」発行費用、校区福祉委員会が取り組む地域福祉活動への補助、移送サービス事業の運営費用など、地域福祉推進のための事業に活用）

② 小路北町作業所　1,575,000 円

③ 寝屋川めぐみ園　1,000,000 円

〔2〕ＮＨＫ歳末たすけあいによる配分　(1 件)

①月の輪学院　78,000 円

２７．地域福祉活動計画の推進

「誰もが安心して暮らせるまちづくり」を目指し、市民や団体等によるさまざまな福祉活動の計画的な推進を図る第３次地域福祉活動計画「未来福祉ねやがわプラン」の趣旨（「困りごとの発見と支援へのつなぎ」「理解と支えあいのつながりづくり」「安心して過ごせる場づくり」「地域福祉の活動や仕事の担い手づくり」「活動する人々のネットワークの強化」）に基づき、各種事業を実施しました。

(1)「困りごとの発見と支援へのつなぎ」

（主な取り組み）

・緊急時安否確認に関する状況調査をもとに、小地域ネットワーク推進委員会を開催し、校区の見守り委員とともに、孤立しやすい住民への支援など、地域の見守り活動の課題や今後の解決策を検討しました。

・各コミュニティセンターエリアにおいて、まちかど福祉相談所を開所し、地域住民の相談に応じるとともに地域によっては、出張まちかど相談を実施し、広く住民のニーズ把握を行い、支援につなげていきました。

・通所型サービス（短期集中）に通う高齢者を対象に、高齢者の社会参加のニーズを把握するためにアンケート調査を実施しました。

(2)「理解と支えあいのつながりづくり」

（主な取り組み）

・市内小学校、中学校などの子どもたちを対象に車イス体験や高齢者擬似体験を実施するとともに障害のある当事者の話を通して、高齢者の介護の問題や障害のある人の思いに触れ、社会福祉への関心や気づきを深めていきました。

・校区福祉委員、地域の高齢者や障害のある人などが集まり、災害時に心配なことなど、互いに意見交換を行う災害座談会を開催しました。

・親子で参加できるボランティア体験プログラムを開催し、障害のある人との交流を通して、福祉やボランティアに触れる機会をつくりました。

(3)「安心して過ごせる場づくり」

（主な取り組み）

・イズミヤSC寝屋川と連携し、ツルナリエ寝屋川を開催し、認知症を患う方も含め、高齢者の居場所づくりを行いました。

・各校区福祉委員会でサロン活動を再開し、地域住民の居場所づくりを行いました。校区によっては子どもがボランティアとしても参加するイベントを開催し、さまざまな世代の地域住民が交流する場作りを行いました。

(4)「地域福祉の活動や仕事の担い手づくり」

（主な取り組み）

・生活困窮者自立支援事業において、社会に参加することが困難な方に寄り添い、簡易な作業から始める就労に向けた支援を行いました。

・ボランティア講座シニア編を開催し、昔あそびを通して、子どもたちとの交流を行うボランティアを養成しました。
・大学生を対象に短期インターンシップ生の受入れを実施し、社会福祉協議会の活動、地域福祉活動の魅力を伝えていきました

(5)「活動する人々のネットワークの強化」

（主な取り組み）

・地域貢献委員会が実施するフードドライブ活動と連携し、経済的な課題を抱える方に対して食料支援を実施しました。
・地域包括支援センターや通所型サービス（短期集中）事業所、医療機関などと連携し、高齢者の社会参加を促進していくために、意見交換の場作りを行いました。

２８．災害被災地支援活動

能登半島地震による震災被災地に対し「近畿ブロック府県・指定都市社会福祉協議会災害時の相互支援に関する協定」、および全国社会福祉協議会の被災地支援の決定に基づき、支援職員の派遣を行いました。

・第 15 クール　石川県七尾市社会福祉協議会(3 月 20 日から 3 月 26 日、1 人)
　主な活動：災害ボランティアセンターの運営支援、災害廃棄物の分別管理等

（その他の支援活動）
・災害義援金募金箱の設置（1 月 4 日～3 月 31 日）　募金額　合計 75,093 円